

# まちだ未来づくりビジョン2040 町田市 5 カ年計画 22-26 2024年度の取り組み結果

— 本編 —



2025年8月  
町田市

## 目 次

1	まちだ未来づくりビジョン2040と町田市5ヵ年計画22-26	
	(1) まちだ未来づくりビジョン2040とは	3
	(2) 町田市5ヵ年計画22-26とは	6
2	まちづくり基本目標の取り組み結果	
	(1) 施策の達成状況	8
	(2) 重点事業プランの取り組み結果	11
	<事業の達成状況と主な成果>	
	政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる	17
	政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる	21
	政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる	31
	政策4 いくつになっても自分の楽しみが持てるまちになる	35
	政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる	39
	政策6 つながりを力にするまちになる	43
	政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる	47
	政策8 思わず出歩きたくまちになる	51
	政策9 みんなが安心できる強いまちになる	59
3	経営基本方針の取り組み結果	
	(1) 経営基本方針の達成状況	64
	(2) 経営改革プランの取り組み結果	65
	(3) 経営改革プランの効果額一覧	69
	<取り組みの達成状況と主な成果>	
	基本方針1 共創で新たな価値を創造する	71
	基本方針2 対話を通して市役所能力を高める	74
	基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する	77
4	「財政見通し」と決算見込額との比較分析	
	(1) 計画額と決算見込額との比較	81
	(2) 2024年度(令和6年度)の財政指標	82

# 1 まちだ未来づくりビジョン2040と町田市5ヵ年計画22-26

まちだ未来づくりビジョン2040は、町田市の市政運営の基本となるビジョンです。

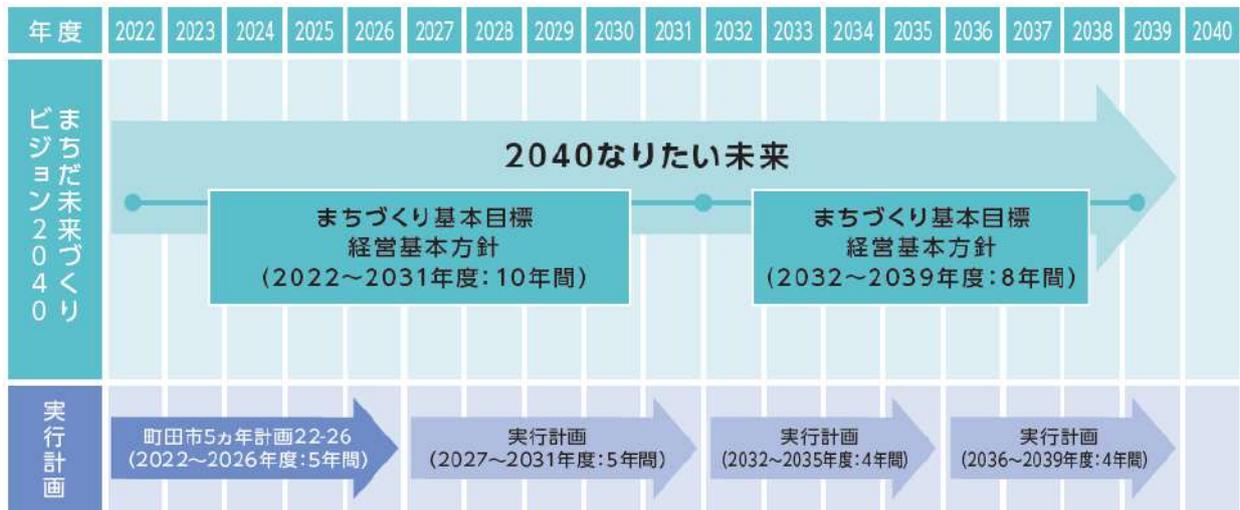
基本構想部分の「2040年りたい未来」は2039年度までの18年間を、基本計画部分の「まちづくり基本目標」と「経営基本方針」は2031年度までの10年間を期間としています。

そして、これらの実行計画となる町田市5ヵ年計画22-26は、2022年度から2026年度までの5年間を期間としています。

## ■計画の構成



## ■計画の期間



### (1) まちだ未来づくりビジョン2040とは

#### ○基本構想部分

「2040年りたい未来」では、まちづくりの方向性、行政経営の方向性を明らかにし、方向性に沿って進んでいった未来の姿を3つの“年りたいまちの姿”（都市像）、1つの“行政経営の姿”（経営像）として掲げています。また、それらからイメージされる未来の町田市を一言で表すキャッチコピーを「なんだ かんだ まちだ」と定めています。

#### ➤「なんだ かんだ まちだ」とは

「なんだかんだ言っても町田が一番。」と誰もが感じることのできるまち、みんなに愛される、ほかにはないユニークなまちのイメージをキャッチコピーで表現しています。

■「2040なりたい未来」の構成



➤3つの“なりたいまちの姿”の成り立ち

“なりたいまちの姿”は、タウンミーティング等、市民の皆さんとの意見交換会で多くいただいた「子ども」、「暮らし」、「つながり」に関することをキーワードに、ワークショップ等を通して多くの方の想いを集めることで作られました。

- ◆「子ども」：ここでの成長がカタチになるまち
- ◆「暮らし」：わたしの“ココチよさ”がかなうまち
- ◆「つながり」：誰もがホッとできるまち

町田市では、2040年に向けて“なりたいまちの姿”（都市像）と“行政経営の姿”（経営像）を実現し、多くの皆さんに「なんだかんだ言っても、やっぱり町田が一番」と思ってもらえるようなまちづくりを進めています。

## ○基本計画部分

「2040なりたい未来」で掲げた、“なりたいまちの姿”と“行政経営の姿”を実現させるため、まちづくりの方向性と行政経営の方向性に沿って、何を目標にどのようにまちづくりを進めるかを体系的に示す、市政運営の基本となる10年間の計画です。

### <まちづくり基本目標の構成>

3つの“なりたいまちの姿”の実現に向けて、9つの政策を軸に施策を体系的に示しています。

- 政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる
- 政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる
- 政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる
- 政策4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる
- 政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる
- 政策6 つながりを力にするまちになる
- 政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる
- 政策8 思わず出歩きたくなるまちになる
- 政策9 みんなが安心できる強いまちになる

### ➤まちづくり基本目標の特長

それぞれ生き方の違う人が、人生のどの段階においても当てはまるよう、ライフステージごとに政策を定め、「自分ゴト」として捉えられるようにしているのが特長です。



### <経営基本方針の構成>

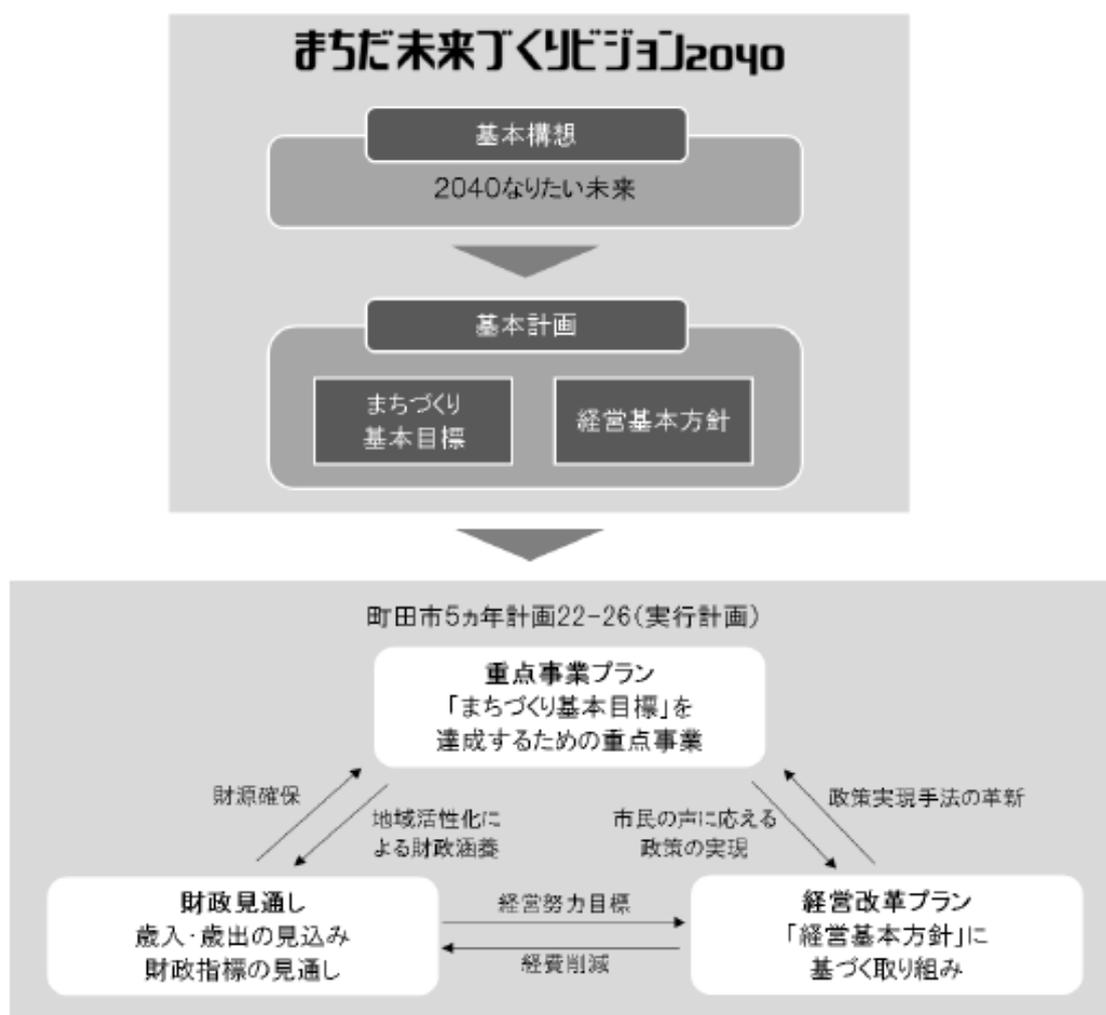
“行政経営の姿”を実現するための方針を体系的に示し、まちづくり基本目標の実現を支えます。

- 基本方針1 共創で新たな価値を創造する
- 基本方針2 対話を通して市役所能力を高める
- 基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する

(2) 町田市5ヵ年計画22-26とは

まちだ未来づくりビジョン2040の「まちづくり基本目標」と「経営基本方針」の達成に向け、財政見通しに基づいて、どのようにまちづくりを行い、何に重点的に取り組んでいくのかを「重点事業（重点事業プラン）」と「改革の取り組み（経営改革プラン）」として定め、総合的かつ計画的に進めていくため、実行計画として町田市5ヵ年計画22-26を策定しています。

「重点事業」は、まちだ未来づくりビジョン2040に掲げる政策や施策（まちづくり基本目標）に、「改革の取り組み」は、基本方針や改革項目（経営基本方針）にそれぞれ紐づき、ビジョン実現のための具体的な活動としています。



➡次ページからは、まちだ未来づくりビジョン2040に掲げる「まちづくり基本目標」と「経営基本方針」ごとに、それぞれに紐づく施策と改革項目、町田市5ヵ年計画22-26の「重点事業プラン」と「経営改革プラン」の、2024年度の取り組みと設定した指標の状況を記載しています。

# まちづくり基本目標

## 2 まちづくり基本目標の取り組み結果

まちだ未来づくりビジョン2040のまちづくり基本目標に掲げる9つの政策を受け、その実現に向けて体系づけた「施策」と重点的に取り組む「重点事業」について、それぞれ設定した指標の状況や取り組み結果をまとめました。

### (1) 施策の到達状況

各施策に設定した指標の目標値に対する2024年度の状況を示しています。

なお、目標値は、2022年度から2031年度までの10年間をかけて達成することを目指した数値です。

政策・施策		現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2024年度)
政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる				
1-1:魅力ある子育て環境をつくる				
施策	0歳から14歳の転入超過割合(10年平均)	54.7%	60.0%	39.9%
	1-2:多様な子育てサービスを提供する			
	認可保育所待機児童数	76人	0人	※1 40人
政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる				
2-1:子どもが自分らしく育つ場を提供する				
	子どもの居場所が確保されていると思う市民の割合	40.3%	50.0%	34.5%
	意見表明を始めとする子どもの市政への参画がされていると思う市民の割合	8.4%	20.0%	17.7%
2-2:学ぶ意欲を育てる				
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる割合	小6 78.6% 中3 77.5%	小6 85.0% 中3 85.0%	小6 86.9% 中3 84.7%
施策	全国体力・運動能力、運動習慣等調査「体力合計点」 (全国平均を100とした場合)	<小5> 男子 100 女子 99	<小5> 男子 104 女子 103	<小5> 男子 99 女子 98
		<中2> 男子 95 女子 96	<中2> 男子 100 女子 100	<中2> 男子 98 女子 99
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につながる事ができている割合	小6 76.0% 中3 73.9%	小6 80.0% 中3 80.0%	小6 79.6% 中3 77.9%
2-3:教育環境を充実させる				
	小学校・中学校の教育環境が整っていると思う市民の割合	33.3%	60.0%	42.1%
	学校に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合	小6 85.8% 中3 78.4%	小6 90.0% 中3 83.0%	小6 84.6% 中3 83.4%
2-4:地域の教育力を高める				
	学校は地域と一体となって子どもたちを育む場であると感じる保護者の割合	—	小 100% 中 100%	小 87.5% 中 76.8%

※1 認可保育所待機児童数の2024年度実績値は、2024年度の取り組み結果が反映される2025年4月公表の数値を記載しています。

※2 ※3 ビジョン策定時、※2については「授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた児童・生徒の割合」、※3については「自分の考えや意見を発表することが得意な児童・生徒の割合」を目標指標として設定していましたが、引用元となる全国学力・学習状況調査の調査項目から削除されたため、代替指標を立てています。

政策・施策		現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2024年度)
政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる				
3-1:ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる				
	付加価値額	5,416億円	6,000億円	- ※4
施策	3-2:町田ならではの地域資源をいかす			
	町田市に対して愛着や親しみを感じている市民の割合	87.5%	93.5%	84.0%
	観光入込客数	574万人	650万人	610万人 ※5
政策4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる				
4-1:生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する				
	生涯学習活動を行う機会を持つことができた市民の割合	30.8%	50.0%	16.2%
施策	4-2:スポーツへの参加機会を充実させる			
	スポーツ実施率	62.6%	70.0%	49.2%
	「する」「みる」「支える」に関わった市民の割合	92.8%	95.0%	76.2%
政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる				
5-1:高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる				
施策	高齢者の地域活動参加率	前期高齢者 71.0% 後期高齢者 58.8%	前期高齢者 79.0% 後期高齢者 66.8%	- ※6
	高齢者の主観的健康感	84.7%	89.0%	- ※6
	5-2:高齢者を地域で支える体制をつくる			
	在宅療養について希望し実現可能だと思う高齢者の割合	28.3%	33.0%	- ※6
	必要とする職員数を確保できていると考えている 介護保険事業所の割合	48.0%	60.0%	- ※6
政策6 つながりを力にするまちになる				
6-1:つながり、支え合える基盤をつくる				
施策	地域とのつながりに満足している市民の割合	48.2%	60.0%	57.3%
	地域につながり、支え合いがあると思う市民の割合	32.0%	45.0%	30.8%
	6-2:みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる			
	市内の温室効果ガス排出量	1,284千 t-co2	998千 t-co2	1,233千 ※7 t-co2
	一人一日あたりのごみ排出量	775g	714g	708g

※4 経済センサス（活動調査）によって概ね4年に1回調査されており、2024年度は調査未実施のため「-（ハイフン）」としています。

※5 「観光入込客数」は、公表が翌年の10月頃のため、前年（2023年）実績を記載しています。

※6 「健康とくらしの調査」及び「高齢者の福祉や介護に関する調査」によって3年に1回調査されており、2024年度は調査未実施のため「-（ハイフン）」としています。

※7 「市内の温室効果ガス排出量」は、公表が翌々年度の3月頃のため、直近（2022年度）実績を記載しています。

政策・施策		現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2024年度)
政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる				
7-1:一人ひとりの個性を大切にする地域をつくる				
	性別、信条、職業、国籍、障がいなどによる差別がないと思う市民の割合	81.8%	85.0%	91.6%
施策	7-2:文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる			
	市内で文化芸術活動に触れる機会を持つことができた市民の割合	13.0%	30.0%	16.4%
	文化施設利用率の平均値	61.6%	70.0%	63.1%
政策8 思わず歩きたくなるまちになる				
8-1:気軽に外へ出てつながれる環境をつくる				
	市内で滞在した時間(1日平均)	220分	240分	— <sup>※8</sup>
	市内で活動した人数(1日平均)	37万人	40万人	— <sup>※9</sup>
施策	8-2:ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする			
	自分が住む地域での生活に満足している市民の割合	77.0%	90.0%	84.3%
	8-3:健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる			
	みどりの環境に満足している市民の割合	79.8%	90.0%	86.5%
政策9 みんなが安心できる強いまちになる				
9-1:ひと・まちを災害に強くする				
	自主防災活動実施率	91.6%	100%	94.7%
	災害などの非常時に対して備えている市民の割合	87.7%	100%	74.3%
9-2:地域の安全を守る				
施策	治安が良いと感じる市民の割合	76.5%	80.0%	81.2%
	市内の交通事故(人身事故)件数【年単位集計】	855件	693件	961件
9-3:市民の健康を守る				
	自殺死亡率(人口10万人あたり)	15.3	12.2以下	15.6
	健康診断を受診している市民の割合	76.5%	80.0%以上	83.6%

※8 ※9「市内に滞在した時間」「市内で活動した人数」は、概ね10年に1回のパーソントリップ調査によって調査されており、2024年度は調査未実施のため「- (ハイフン)」としています。

※上記一覧表の「市民の割合(〇〇している市民の割合)」の指標については、「2024年度町田市市民意識調査」の無回答数を除いた有効回答数を100%として算出しているため、「2024年度町田市市民意識調査報告書」の数値結果と異なる場合があります。

## (2) 重点事業プランの取り組み結果

各重点事業で設定する、それぞれの指標の2024年度目標値に対する実績値（取り組み結果）を示しています。

### < 「取り組み結果」の考え方 >

計画当初に立てたすべての指標について、実績値に応じて「○・△」の2段階で達成度を表示。

○…目標値を上回った場合（目標値に対して100%以上の実績値の場合）

△…目標値を下回った場合（目標値の100%未満の実績値の場合）

\* 「取り組み結果」の割合は、目標値に対する実績値の割合です。なお、100%を超える場合にも100%を上限としています。

# 2024年度の達成率・・・86%

- \* 「2024年度達成率」は、全重点事業の達成率の平均から算出しています。
- \* 「政策」及び「施策」の達成率は、それぞれに紐づく重点事業の達成率の平均から算出しています。
- \* 2024年度時点で事業未実施及び、事業実施しているが目標指標を設定していないもの（現状維持で現状値から変化のないものを含む）については、「-（ハイフン）」とし、達成率の算出から除いています。
- \* 目標達成年度が2023年度までの事業のうち、目標が達成できていないものについては、2023年度以前に設定している目標値を2024年度に繰り越して達成率を算出しています。
- \* 整備工事完了等の定性指標に関するもののうち、目標として設定した文字通りの状況に到達していない場合には、「取り組み結果」の割合を50%としています。

政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる【達成率:93%】					
施策1-1 魅力ある子育て環境をつくる【達成率:97%】					
重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 地域における子育て支援の充実	90%	産後ケア利用申請数	○(100%)	438件	1,201件
		地域子育て相談センターの相談件数	△(70%)	18,500件	12,863件
		マイ保育園累計実施園	○(100%)	73園	73園
2 「食」を通じた地域ネットワーク支援の構築	100%	配達食数	○(100%)	320食	342食
3 ひとり親家庭の支援	100%	高卒認定試験合格支援申請相談者数	○(100%)	15件	19件
		養育費確保支援申請者数	○(100%)	30件	97件
施策1-2 多様な保育サービスを提供する【達成率:91%】					
重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 送迎保育による多様な保育サービスの推進	100%	送迎保育ステーション利用定員数	○(100%)	8,000人	8,979人
2 病児・病後児保育の充実	88%	病児・病後児保育施設設計数	△(88%)	8施設	7施設
3 保育の質の向上推進	76%	保育サービス利用者・提供者の満足度	○(100%)	85%	100%
		保育士養成校等との連携回数	△(52%)	21回	11回
4 教育・保育施設の整備	100%	3歳児未満の保育サービスの提供率	○(100%)	47%	50%

政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる【達成率:87%】

施策2-1 子どもが自分らしく育つ場を提供する【達成率:82%】					
重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 子どもの参画の推進	100%	子どもが意見を発信する回数	○ (100%)	5回	8回
2 子どもクラブの整備	88%	子どもクラブ累計施設数	△ (88%)	8施設	7施設
3 学童保育クラブの整備	71%	学童保育クラブ整備累計施設数	△ (57%)	7施設 (3施設/年)	4施設
施策2-2 学ぶ意欲を育てる【達成率:86%】					
重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 えいごのまちだの推進	100%	英語で自分の考えや気持ちを伝え合うことが楽しいと感じる小学校5・6年生の割合	○ (100%)	72.0%	72.6%
		英語で書いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝え合うことが楽しいと感じる中学生の割合	○ (100%)	57.0%	71.2%
2 ICT教育の充実	86%	授業の中でICTを活用することに不安があると感じている教員の割合	△ (70%)	38.0%	44.4%
		学習ドリルソフトを使って、自分の苦手なところを復習しながら、学習を進めている小学生(第5・6学年)の割合	△ (90%)	82.9%	74.5%
		学習ドリルソフトを使って、自分の苦手なところを復習しながら、学習を進めている中学生(第1学年)の割合	○ (100%)	58.0%	80.7%
3 地域のスポーツ環境の充実	63%	30～49歳のスポーツ実施率(男性)	△ (78%)	62.5%	48.6%
		30～49歳のスポーツ実施率(女性)	△ (49%)	67.1%	32.6%
		スポーツに関するボランティアを行った割合	△ (64%)	9.4%	6.0%
4 キャリア教育の推進	95%	将来の夢や目標をもっていると答えた児童・生徒の割合(小6)	○ (100%)	79.0%	79.5%
		将来の夢や目標をもっていると答えた児童・生徒の割合(中3)	△ (90%)	69.0%	61.8%
施策2-3 教育環境を充実させる【達成率:88%】					
重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 新たな学校づくりの推進	71%	新たな学校づくり基本計画検討会累計設置数	△ (71%)	7地区	5地区
		新たな学校づくり基本計画累計策定数	△ (71%)	7件	5件
2 中学校給食センターの整備	100%	中学校全員給食の導入	○ (100%)	1ヵ所目提供開始	1ヵ所目提供開始
3 小学校施設の整備	80%	建替え等の設計累計着手校(小学校)	△ (80%)	5校	4校
4 中学校施設の整備	-	建替え等の設計累計着手校(中学校)	-	-	-
5 特別支援学級の充実	100%	特別支援学級累計設置校数	○ (100%)	40校	40校
施策2-4 地域の教育力を高める【達成率:100%】					
重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 学校と地域の協働	100%	地域学校協働活動項目件数	○ (100%)	124件	124件

政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる【達成率:90%】

施策3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる【達成率:79%】					
重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 起業・創業の魅力を発信	99%	創業機運醸成に関するセミナー等の実施回数	○ (100%)	12回	14回
		起業家カードの発行数	△ (98%)	230件	226件
2 事業者の新分野・新技術への進出支援	66%	産業財産権取得に対する補助件数	△ (83%)	40件	33件
		新商品・新サービス開発に対する補助件数	△ (50%)	10件	5件
3 事業者の次代を担う人材を育成	85%	就職面接会、採用相談会等の参加者数	○ (100%)	250人	370人
		労働関連セミナー参加者数	△ (71%)	450人	318人
4 円滑な事業承継の推進	100%	事業承継累計完了件数	○ (100%)	25件	75件
		事業承継ネットワーク個別相談受付件数	○ (100%)	330件	364件
5 働きやすいまちづくりの推進	42%	シェアオフィス等に対する中心市街地活性化奨励金交付件数	△ (0%)	1件	0件
		町田市勤労者福祉サービスセンター会員事業所数	△ (84%)	815事業所	686事業所

政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる【達成率:90%】						
施策3-2 町田ならではの地域資源をいかす【達成率:99%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	シティプロモーションの推進	97%	町田市に対して愛着や親しみを感じる市民の割合	△(94%)	89.3%	84.0%
			広告換算額	○(100%)	468百万円	1,615百万円
2	シティセールスの推進	100%	観光入込客数	○(100%)	590万人	610万人
3	町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進	100%	四季彩の杜来園者数	○(100%)	121万人	139万人
4	香山緑地の整備	100%	香山緑地の整備	○(100%)	建物耐震改修工事完了	建物耐震改修工事完了
5	身近に農のあるまちづくり	100%	子育て世帯のうち「まち☆ベジ」を購入したことがある人の割合	○(100%)	38.0%	69.0%
6	里山環境の活用と保全	100%	里山への来訪者数	○(100%)	30,000人	35,486人

政策4 いくつになっても自分の楽しみが持てるまちになる【達成率:77%】						
施策4-1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する【達成率:80%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	ワタンが主役の図書館づくりの推進	40%	市民協働運営の施設数	△(0%)	- (1カ所)	0カ所
			読書普及の取り組み紹介数	△(81%)	31件	25件
2	新たな図書館様式の推進	100%	図書館サービスを利用していない市民の割合	-	-	-
			予約資料受取場所累計施設数	○(100%)	6施設 (1施設/年)	6施設
3	新たな学びの支援	100%	学習成果を今後、いかせると答えた人の割合	○(100%)	73%	91%
施策4-2 スポーツへの参加機会を充実させる【達成率:75%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	地域のスポーツ環境の充実(2-2③再掲)	63%	30～49歳のスポーツ実施率(男性)	△(78%)	62.5%	48.6%
			30～49歳のスポーツ実施率(女性)	△(49%)	67.1%	32.6%
			スポーツに関するボランティアを行った割合	△(64%)	9.4%	6.0%
2	野津田公園スポーツの森の整備	50%	テニスコートの整備	-	-	-
			パークセンターゾーンの整備	△(50%)	実施設計完了	基本設計完了
3	スポーツをする場の環境整備	87%	「子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった」と答えた市民の割合	△(87%)	44.3%	51.6%
4	忠生スポーツ公園の整備	-	池の辺地区の整備	-	-	-
			峠谷地区の整備	-	-	-
5	ホームタウンチーム等との連携の推進	100%	ホームタウンチームを知っている市民の割合	○(100%)	73.7%	77.8%

政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる【達成率:100%】						
施策5-1 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる【達成率:100%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	地域介護予防活動支援	100%	「町トレ」自主グループ累計数	○(100%)	210団体	225団体
施策5-2 高齢者を地域で支える体制をつくる【達成率:100%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	認知症の人やその家族の居場所づくり	100%	まちづくりワークショップの累計参加者数	○(100%)	90人	325人
2	介護人材の確保・育成・定着	100%	介護人材バンクによる就労人数	○(100%)	45人	54人

政策6 つながりを力にするまちになる【達成率:72%】						
施策6-1 つながり、支え合える基盤をつくる【達成率:80%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	地域活動団体支援	100%	支援を行ったことで活動の活性化につながった累計団体数	○(100%)	170団体	192団体
			マッチング累計件数	○(100%)	46件	74件
2	ワタンが主役の図書館づくりの推進(4-1①再掲)	40%	市民協働運営の施設数	△(0%)	- (1カ所)	0カ所
			読書普及の取り組み紹介数	△(81%)	31件	25件
3	地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化	100%	新たな相談支援体制の導入累計地区数	○(100%)	7地区	7地区

政策6 つながりを力にするまちになる【達成率:72%】

施策6-2 みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる【達成率:63%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 地球温暖化対策の推進	39%	家庭用燃料電池設置累計補助件数	△(79%)	550件 (200件/年)	434件
		燃料電池自動車(FCV)導入累計補助件数	△(0%)	20件 (10件/年)	0件
2 資源循環型施設の整備	50%	町田市バイオエネルギーセンターの整備	○(100%)	100%	100%
		相原地区資源ごみ処理施設の整備	△(0%)	50%	0%
3 プラスチックごみの減量の推進	100%	容器包装プラスチック排出削減量	○(100%)	800t	1,025t

政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる【達成率:88%】

施策7-1 一人ひとりの個性を大切にできる地域をつくる【達成率100%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 性の多様性への理解の促進	100%	性の多様性に関する情報発信回数	○(100%)	3回	13回
2 障がい者差別解消推進	100%	差別解消に関連した講座等の実施回数	○(100%)	2回	47回
3 成年後見制度の利用支援	100%	市民後見人累計登録者数	○(100%)	90人	92人

施策7-2 文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる【達成率:50%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 芹ヶ谷公園「芸術の杜」パークミュージアムの整備	50%	(仮称)国際工芸美術館の整備	△(50%)	整備工事実施	CM業務設計反映完了
		公園の第2期整備	△(50%)	整備工事着手	実施設計未実施

※CM(コンストラクションマネジメント):適切な工事発注のため、設計を客観的に検証し、整備工事費用・内容が適切かどうかを評価する手法

政策8 思わず歩きたくなるまちになる【達成率:88%】

施策8-1 気軽に歩いてつながれる環境をつくる【達成率:99%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 小さな交通・地域で支える交通環境の整備	100%	多様な主体が連携した交通の取り組みや新たな交通の実用化・実証実験等の累計件数	○(100%)	13件	16件
		整備補助を受け設置されたホームドア累計総列数	-	-	-
2 大きな・速い交通の整備	100%	多摩都市モノレール町田方面延伸実現に向けた検討	○(100%)	検討	検討
3 自転車利用環境の整備	100%	自転車通行空間の累計整備延長	○(100%)	5.3km	6.5km
4 都市計画道路の整備	99%	整備済延長(市施行分)	△(99%)	60.11km	60.06km
5 準幹線道路の整備	99%	整備済延長	△(99%)	85.11km	84.46km
6 鶴川駅周辺のまちづくりの推進	100%	北口広場の整備	○(100%)	広場仮使用開始	広場整備工事
		南北自由通路の整備	○(100%)	整備工事	整備工事
		南口の土地区画整理	○(100%)	整備工事	整備工事
		南口のアクセス道路整備	○(100%)	整備工事	整備工事
7 相原駅周辺のまちづくりの推進	100%	東口アクセス路整備(相原駅)	○(100%)	用地取得整備工事	用地取得整備工事
		東口駅前広場周辺街区整備(相原駅)	○(100%)	整備手法検討	整備手法検討
		東口駅前広場整備(相原駅)	○(100%)	測量・設計	設計

施策8-2 ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする【達成率:95%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 団地再生の推進	-	団地再生に向けた取り組みを行っている累計団地数	-	-	-
2 忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進	100%	まちづくりの事業化	○(100%)	検討実施	検討実施
3 木曾山崎地区のまちづくりの推進	100%	まちづくりの事業化	○(100%)	検討実施	検討実施
4 町田駅周辺地区のまちづくりの推進	100%	まちづくりの事業化	○(100%)	検討実施	検討実施
5 中心市街地の賑わい空間の創出	81%	「町田駅周辺の中心市街地で2時間以上過ごす」市民の割合	△(85%)	57.2%	48.4%
		「2週間に1回以上の頻度で町田駅を訪れる」市民の割合	△(78%)	52.8%	41.3%

政策8 思わず出歩きたくなるまちになる【達成率:88%】

施策8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる【達成率:71%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 芹ヶ谷公園”芸術の杜”パークミュージアムの整備(7-2①再掲)	50%	(仮称)国際工芸美術館の整備	△(50%)	整備工事実施	CM業務設計反映完了
		公園の第2期整備	△(50%)	整備工事着手	実施設計未実施
2 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進(3-2③再掲)	100%	四季彩の杜来園者数	○(100%)	121万人	139万人
3 野津田公園スポーツの森の整備(4-2②再掲)	50%	テニスコートの整備	-	-	-
		パークセンターゾーンの整備	△(50%)	実施設計完了	基本設計完了
4 香山緑地の整備(3-2④再掲)	100%	香山緑地の整備	○(100%)	建物耐震改修工事完了	建物耐震改修工事完了
5 (仮称)蓮田公園の整備	50%	蓮田緑地の整備	△(50%)	整備工事完了	整備工事実施
6 忠生スポーツ公園の整備(4-2④再掲)	-	池の辺地区の整備	-	-	-
		峠谷地区の整備	-	-	-
7 (仮称)大戸広場の整備	50%	(仮称)大戸広場の整備	△(50%)	整備工事着手	用地取得・折衝
8 都市農地の保全活用の取組	100%	生産緑地の肥培改善通知文書の発送数	○(100%)	5通	2通
		市内の農業体験に参加した市民の割合	○(100%)	0.6%	1.2%

政策9 みんなが安心できる強いまちになる【達成率:84%】

施策9-1 ひと・まちを災害に強くする【達成率:81%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 自主防災リーダーの育成	100%	日頃から避難場所について確認している市民の割合	○(100%)	56%	56%
		「とりくむ」講座実施累計地区数	○(100%)	6地区	6地区
2 避難行動要支援者の避難支援体制整備	56%	個別避難計画作成累計人数	△(56%)	100人	56人
3 地震対策(雨水管の耐震化)	-	耐震化率	-	-	-
4 地震対策(下水道処理施設の耐震化)	100%	成瀬クリーンセンターの耐震化率	○(100%)	81.5%	81.5%
5 浸水対策の推進	56%	雨水管整備対象箇所での浸水対策累計数	△(56%)	9カ所	5カ所
6 無電柱化の推進	-	整備済延長(累計)	-	-	-
7 住宅の耐震化の促進	100%	木造住宅の耐震化率	○(100%)	87.8%	88.1%
8 緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化の促進	74%	要安全確認計画記載建築物の耐震化率	△(74%)	95.0%	70.4%

施策9-2 地域の安全を守る【達成率:95%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 協働パトロールの充実	100%	協働パトロール回数	○(100%)	48回	67回
2 交通安全ミーティングの推進	100%	交通安全ミーティング実施回数	○(100%)	6回	6回
3 踏切道の改良	75%	鶴川1号踏切の拡幅完了	○(100%)	- (工事完了)	工事完了
		鶴川5号踏切の拡幅完了	△(50%)	設計完了	用地測量完了
4 道路安全設備の緊急更新	100%	町田市内幹線・準幹線道路の区画線補修工事	○(100%)	50%	50%
5 自転車利用環境の整備(8-1③再掲)	100%	自転車通行空間の累計整備延長	○(100%)	5.3km	6.5km

施策9-3 市民の健康を守る【達成率:50%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 自殺対策の推進	50%	自殺死亡率(人口10万人あたり)	△(50%)	13.2	15.6

## 事業の達成状況と 主な成果

胎児期・幼年期  
(0～5歳)

少年期  
(6～18歳)

青壮年期  
(19～44歳)

中年期  
(45～64歳)

高齢期  
(65歳～)

政策 /

1

## 赤ちゃんに選ばれる まちになる

2024年度の主な成果



### 1-1 重点事業① 地域における子育て支援の充実

出産後に助産師のケアを受けられる「日帰り型・宿泊型（医療機関・助産院での休息、授乳・育児指導）」や「訪問型（自宅での相談やアドバイス）」の産後ケア事業について、契約医療機関を12ヵ所から17ヵ所に、訪問員を15名から18名に増やして体制を強化しました。その結果、利用申請数は目標値（438件）を上回る1,201件となりました。

### 1-2 重点事業① 送迎保育による多様な保育サービスの推進

保育の希望時間と保育所等の開所時間が合わない方や、住まいや勤務地と保育所等の所在地が離れているために保育所等の利用が困難な方に対し、町田駅近隣から指定の保育所等に児童を送迎する送迎保育ステーション事業を実施しました。年間で約9,000人の児童が利用し、待機児童数の減少と利用者の利便性向上につながりました。



### 1-2 重点事業③ 保育の質の向上推進

保育コンシェルジュが市内の教育・保育施設を計171園（延べ230回）訪問し、保育内容や施設の課題などに対して助言等を行いました。また、保育施設職員の悩み等に対しても助言を行うことで、より働きやすい環境づくりにつなげるなど、保育の質の向上を図りました。

# 施策 1-1 魅力ある子育て環境をつくる

## 施策実現によってなりたい姿

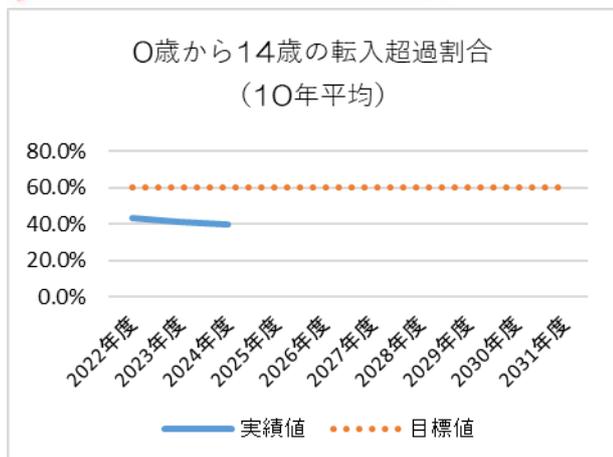
- 子育て世帯の誰もが必要な情報を把握し、支援が必要なときに支援を受け、相談が必要なときに相談を受けられる環境になっています。
- 子ども・子育て支援が切れ目なく行われている環境になっています。

## なりたい姿の実現度を測る指標

0歳から14歳の転入超過割合  
(10年平均)



## 指標の経過



## <参考>

■0～14歳の転入超過数(直近3ヵ年参考/10年合計・平均)

2022年	2023年	2024年	10年合計	10年平均
948人	856人	922人	7350人	735人

■転入超過数総数(直近3ヵ年参考/10年合計・平均)

2022年	2023年	2024年	10年合計	10年平均
2784人	2023人	2385人	18408人	1840.8人

## 施策を実現するための重点事業

- 地域における子育て支援の充実
- 「食」を通じた地域ネットワーク支援の構築
- ひとり親家庭の支援

コラム

## おうちでごはん

～ひとり親家庭のコミュニケーションと笑顔を増やしたい！  
 手作りのお弁当を配達します！～

おうちでごはん事業は、町田市社会福祉協議会が町田市の補助金を活用して実施しています。経済的に厳しいひとり親家庭を対象に、地域のボランティアの皆さんにご協力いただき、2週間に1回、手作りのお弁当を配達しています。2024年度は1回の配達で最大342食、年間で計7,991食を配達しました。また、地域のボランティアの皆さんや社会福祉協議会の職員が、子ども食堂の情報はじめとする地域の情報をお届けしています。

おうちでごはん事業では、ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングで集めた寄附金を事業費に充てています。2018年度から寄附の募集を開始し、2024年度までに約4,700万円の寄附をいただきました。事業費をふるさと納税で賄い、利用者宅に直接弁当を配達する仕組みは、都内唯一の取り組みです。

### ＜利用者からの声＞

☆今日はバタバタな一日で家に着いて夕食は…と考えていましたが、「今日はおうちでごはんの日だ」と気づき、経済的だけでなく、精神的にも救われました。2人でゆっくり過ごすことができました。

☆お母さんと一緒のご飯を久しぶりに食べることができてうれしかったです。お母さんの負担が少しでも減って、楽になっているのでとてもありがたいです。ごちそうさまでした！



## 施策 1-2 多様な保育サービスを提供する

### 施策実現によってなりたい姿

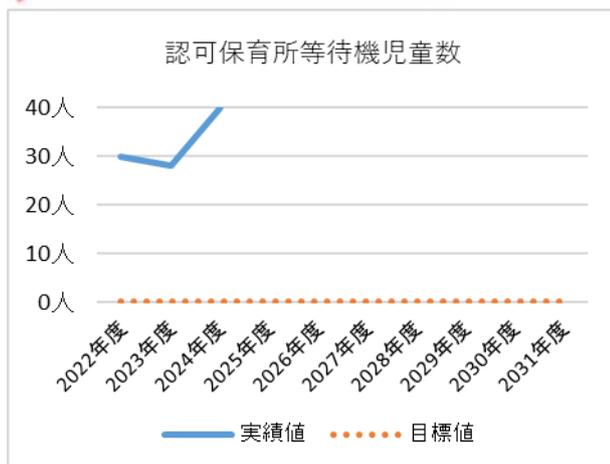
- 子育てと仕事の両立ができ、ワークライフバランス が保てることで、充実した子育てや仕事を実現しています。
- 保育を必要としているときに必要な保育サービスを利用できる環境を実現しています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



※認可保育所待機児童数の2024年度実績値は、2024年度の取り組み結果が2025年4月公表の数値に反映されることから、年度をずらして記載しています。

### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 送迎保育による多様な保育サービスの推進
- 病児・病後児保育の充実
- 保育の質の向上推進
- 教育・保育施設の整備

胎児期・幼年期  
(0～5歳)

少年期  
(6～18歳)

若壮年期  
(19～44歳)

中年期  
(45～64歳)

高年期  
(65歳～)

＼ 政策 /

2

## 未来を生きる力を 育み合うまちになる



2024 年度の主な成果

### 2-1 重点事業① 子どもの参画の推進



若者が“やりたいこと”を自らの力で実現できるように市が後押しする「まちだ若者大作戦」を実施しました。2024年度は、総合体育館を会場にダンス部やダンススクールに通う子ども・若者がダンスの発表を通じて交流する「ダンスでつながろう！まちだダンスプロジェクト」や、子どもセンター5館で演劇のワークショップ、上演会を実施し、演劇のハードルを低くする「まちだユースシアター」など、10の大作戦を通じて若者がやりたいことを実現する機会を創出しました。

### 2-2 重点事業④ キャリア教育の推進

市立中学2年生の全生徒が3日間、市内の事業所等で職場体験を行いました。保育園や飲食店など、様々な事業所で仕事を体験することで、子どもたちが「働く」ことを意識するきっかけづくりを行いました。

また、子どもたちが単価や製造数などをグループで話し合い、売り上げを競うなど、会社経営を通じて意思決定力を育む経営シミュレーション（小学校：「CAPS（キャップス）」、中学校：「MESE（ミース）」）を実施しました。



### 2-3 重点事業② 中学校給食センターの整備

全市立中学校で温かい給食を提供するため、給食センターの整備を進めました。

2025年1月には鶴川エリアの給食センターから中学校5校に、2,400食の給食の提供を開始しました。また、2025年度からの提供開始に向け、町田忠生小山エリアと南エリアの給食センター整備に取り組みました。



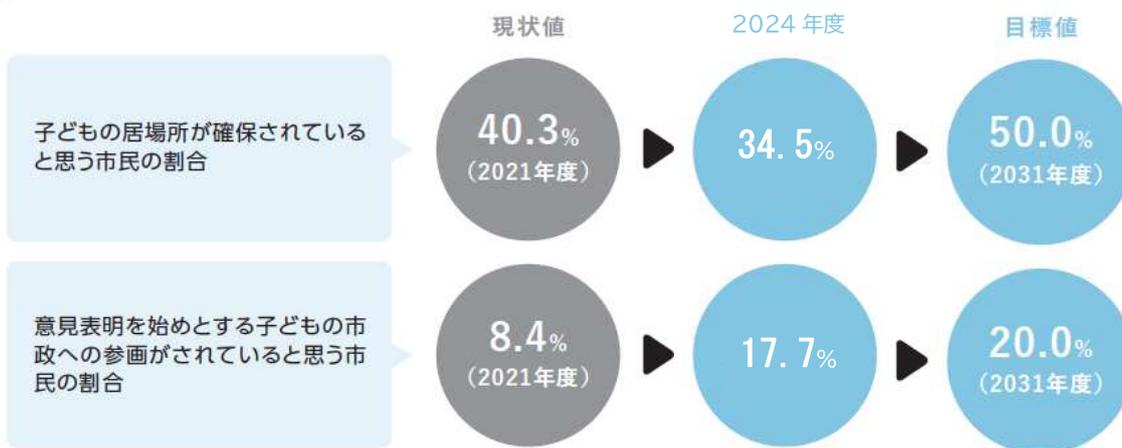
## 施策 2-1

# 子どもが自分らしく育つ場を提供する

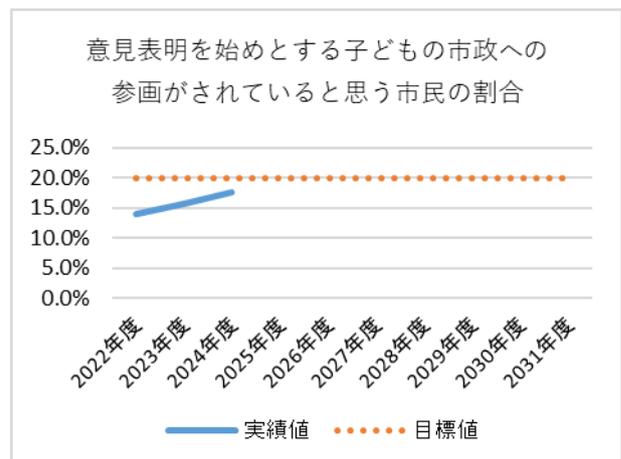
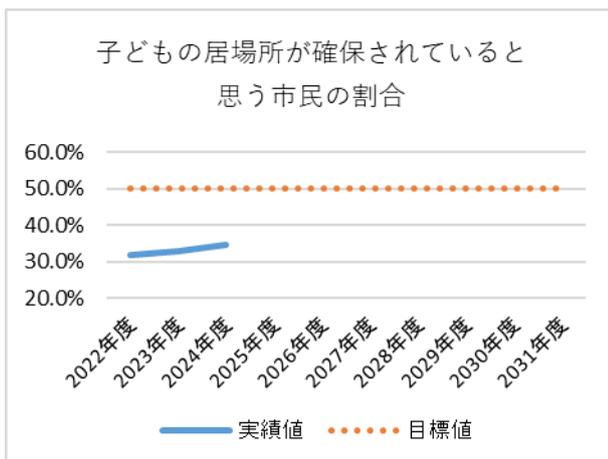
### 施策実現によってなりたい姿

- 行政のあらゆる活動に子どもが意見でき、大人と共にまちづくりに取り組んでいます。
- 家庭の事情に関係なく、子どもが「活動の場」「生活の場」「豊かに過ごせる場」を選択できるまちになっています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 子どもの参画の推進 コラム
- 子どもクラブの整備
- 学童保育クラブの整備



まちだコドマチ条例PRキャラクター  
カワセミレンジャー

## 町田市子どもにやさしいまち条例（まちだコドマチ条例）

2024年5月5日に、子どもが幸せに暮らすことができる「子どもにやさしいまち」の実現を目的とした「町田市子どもにやさしいまち条例」を施行しました。

この条例は4つの「子どもの権利」（生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利）と、それを守るための「大人の責務」を定め、市民や事業者、そして市が、それぞれの立場で協力しながら、子どもを支えることで、「子どもにやさしいまち」の実現を目指す条例です。

### 子どもの声を聴く取組（条例制定時）

子ども参画ミーティングの開催、条例を検討する部会への高校生・大学生の登用、若者が市長と語る会でのテーマを「まちだコドマチ条例（ルール）」にするなど、子どもの声を直接聴きながら条例を制定しました。

「年齢だけでなく、成長に応じた支援をすべきだ」という子どもの声を受けて、「年齢に応じ」という表現が「成長に応じ」に変更となるなど、いただいた意見は条例に活かされています。



条例の施行日には、条例施行イベントを、子どもセンター「ばあん」の25周年を記念した誕生祭と併せて開催し、準備の段階から当日の進行まで、子どもたちが主体的に関わり取り組みました。

中でも、子どもセンター5館の子どもたちがオンラインで同時に参加した「市長とのクイズ大会」では、子どもたちが検討を重ね発案し、企画したイベントとなり、条例の理念を体現したものとなりました。

今後も、子どもにも大人にも幅広く条例のことを知ってもらえるように、条例の周知・啓発に力を入れていきます。

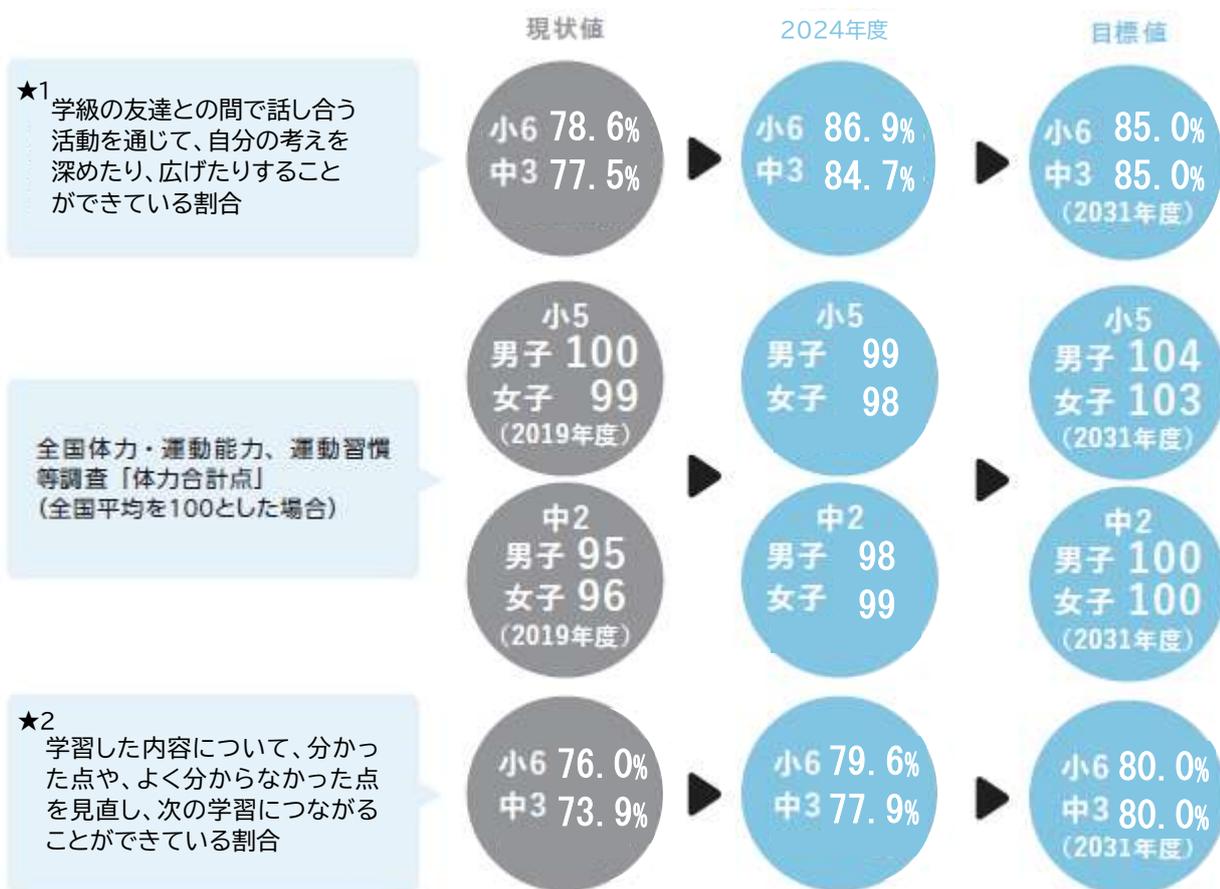


## 施策 2-2 学ぶ意欲を育てる

### 施策実現によってなりたい姿

- 次代を担う子どもたちが、グローバル化やICTなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの社会において、夢や志を持ち、自ら考え、目標に向かってたくましく生きることができるようになっています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



\* ビジョン策定時、★1については「授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた児童・生徒の割合」、★2については「自分の考えや意見を発表することが得意な児童・生徒の割合」を目標指標として設定していましたが、引用元となる全国学力・学習状況調査の調査項目から削除されたため、代替指標を立てています。

## 指標の経過

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる割合（小6）



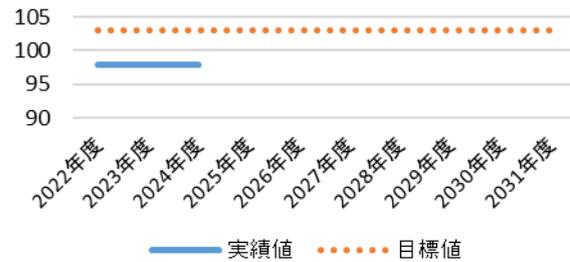
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる割合（小6）



全国体力・運動能力、運動習慣等調査  
小5男子「体力合計点」  
(全国平均を100とした場合)



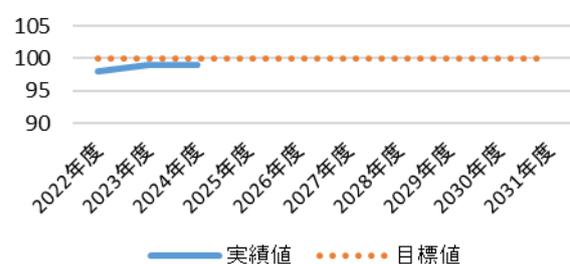
全国体力・運動能力、運動習慣等調査  
小5女子「体力合計点」  
(全国平均を100とした場合)



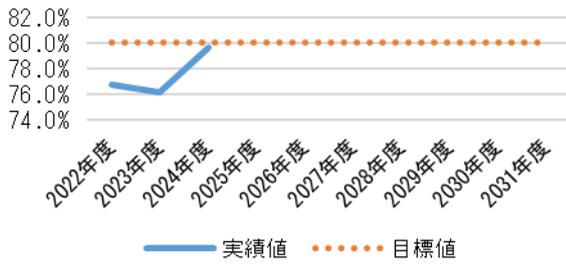
全国体力・運動能力、運動習慣等調査  
中2男子「体力合計点」  
(全国平均を100とした場合)



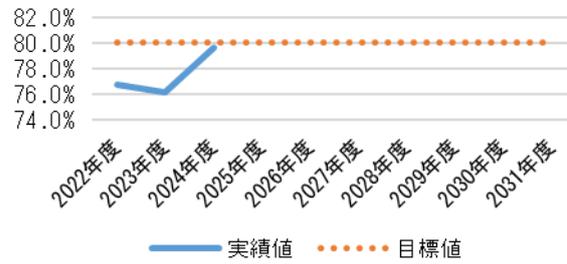
全国体力・運動能力、運動習慣等調査  
中2女子「体力合計点」  
(全国平均を100とした場合)



学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につながるができている割合（小6）



学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につながるができている割合（小6）



### 施策を実現するための重点事業

- えいごのまちだの推進
- ICT教育の充実
- 地域のスポーツ環境の充実
- キャリア教育の推進

コラム

## キャリア教育で育む力 『小中一貫町田っ子カリキュラム「キャリア教育」』

町田市では、どの小・中学校でも効果的な学習ができるよう、小・中連続のカリキュラム『小中一貫町田っ子カリキュラム「キャリア教育」』を作成し、キャリア教育の推進を図っています。

「キャリア」とは「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割や自分との関係を見いだしていく連なりや積み重ね」です。小中一貫してキャリア教育を実施することで、「自分がしたいこと」、「自分ができること」、「社会が求めていること」を意識し、自分らしい生き方ができる町田っ子を育てます。



～キャリア教育として、様々な取り組みを実施しています～

### ●販売体験活動（小学校）

学校や地域に由来のあるものを、様々な工夫をして実際に販売します。販売することの楽しさや、創意工夫の大切さなどを学びます。

### ●<sup>キャップス</sup>CAPS（小学校）・<sup>ミーセス</sup>MESSE（中学校）プログラム

児童・生徒が実際に物を製造・販売する仮想会社の重役として、様々な意思決定を行います。グループの中で自分の役割を考えることや、異なる考えを持つ人と協力することを学びます。

### ●職場体験事業（中学校）

市内の職場を3日間経験することで、生徒が自分の進路や将来を考え、働くことの意味や楽しさ、大変さを学びます。また、自分のよさや可能性に気づくきっかけにもなります。



販売体験活動の様子



CAPS プログラムの様子

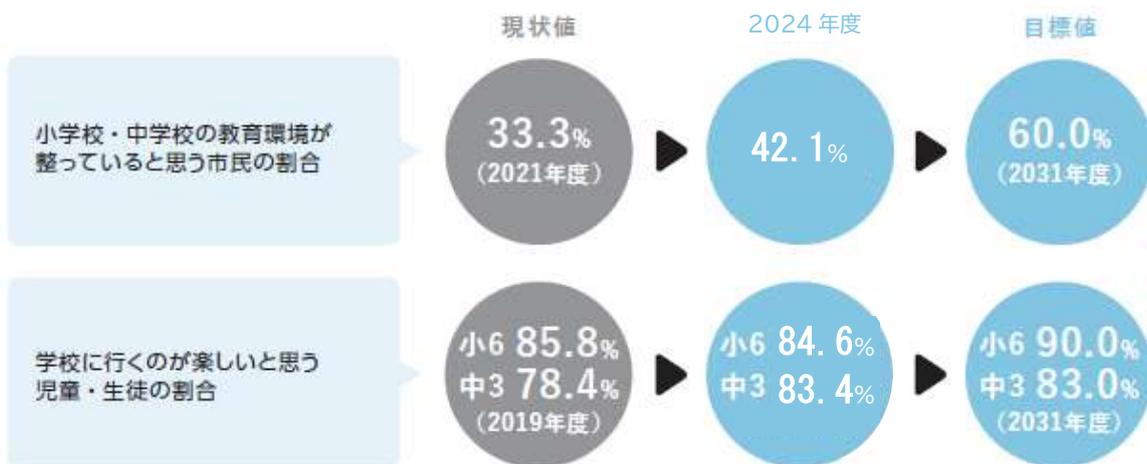
## 施策 2-3

# 教育環境を 充実させる

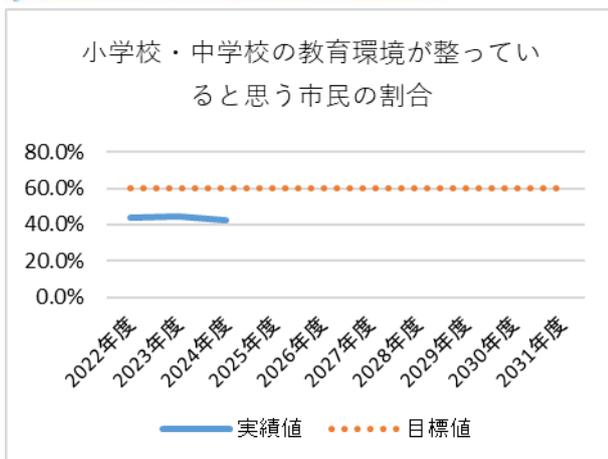
### 施策実現によってなりたい姿

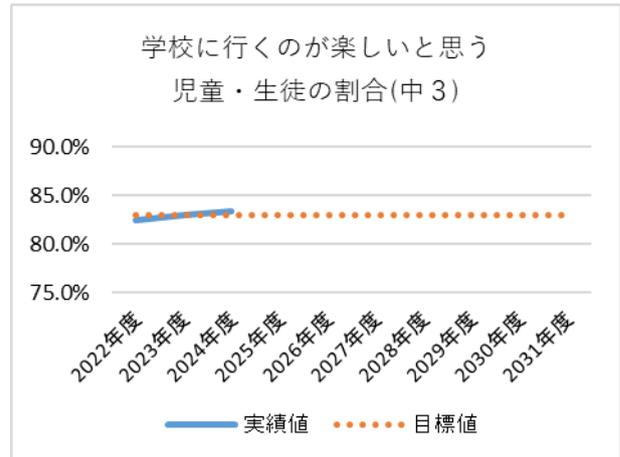
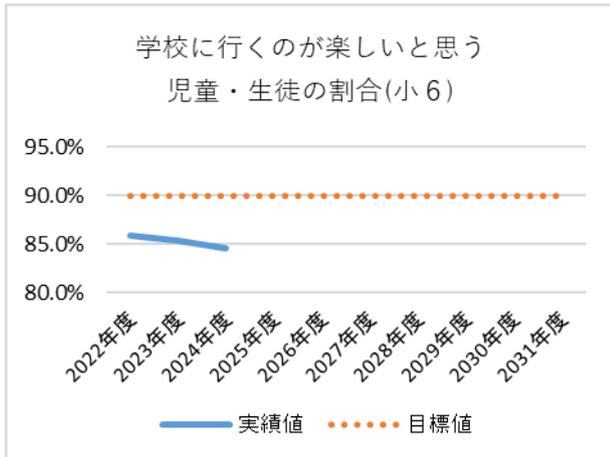
- 質の高い教育環境の下で、子どもたち一人ひとりの能力・可能性が育まれています。
- 子どもがいつでもどこでも誰でもそれぞれに適した方法・場所で教育を受けることができます。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過





施策を実現するための重点事業

- 新たな学校づくりの推進
- 小学校施設の整備
- 特別支援学級の充実
- 中学校給食センターの整備
- 中学校施設の整備

コラム

コラム

2025年度に町田市内の全中学校で全員給食が始まります

町田市では、2024年9月にゆくのき学園から堺中学校に配送する形で、堺エリアで全員給食を開始しました。2025年1月には鶴川エリア中学校給食センター、4月には町田忠生小山エリア中学校給食センターが開所しました。

また現在、2025年10月に開業予定の南エリア中学校給食センターを建設・開業準備中です。



町田市の中学校給食センターは、調理施設だけではなく、地域の方にもご利用いただけるようキッチン付き多目的室などの施設を併設しています。

特に、町田忠生小山エリア中学校給食センターには多目的室の他にも消防団詰所やカフェ、プレイルーム、子ども広場等があり、カフェでは毎日30食の給食ランチを提供しています。

## 施策 2-4

# 地域の教育力を高める

### 施策実現によってなりたい姿

- 地域人材の経験やスキルをいかし、子どもたちが未来を生きる力を育むとともに地域人材の活躍の場を作り出す双方向の「連携・協働」型の活動が充実しています。

### なりたい姿の実現度を測る指標

学校は地域と一体となって子どもを育む場であると感じる保護者の割合



### 指標の経過

学校は地域と一体となって子どもたちを育む場であると感じる保護者の割合 (小学校)



学校は地域と一体となって子どもたちを育む場であると感じる保護者の割合 (中学校)



### 施策を実現するための重点事業

- 学校と地域の協働

胎児期・幼年期  
(0～5歳)

少年期  
(6～18歳)

青壮年期  
(19～44歳)

中年期  
(45～64歳)

高年期  
(65歳～)

政策 /

3

## 自分らしい場所・時間を持てるまちになる



2024年度の主な成果



### 3-1 重点事業④ 円滑な事業承継の推進

支援機関が連携する「町田市事業承継推進ネットワーク」を活用して、個別相談や資金調達サポート等の多様な支援を実施し、事業承継累計完了件数は目標値（25件）を大きく上回る75件となりました。また、市庁舎での相談会の実施等、相談しやすい環境を整え、相談受付件数も目標値（330件）を上回る364件となりました。

### 3-2 重点事業④ 香山緑地の整備

整備工事が完了し、2025年1月25日に「鶴川香山園」として開園しました。鶴川駅に近接した利便性の高い立地で、緑豊かな庭園と100年以上の歴史を持つ書院造の建物を中心に、和の空間を楽しめる施設となっています。庭園を眺めながら地元食材を使った食事が楽しめるレストランも併設し、多くの来訪者を集めています。



### 3-2 重点事業⑤ 身近に農のあるまちづくり

市内の農業情報をまとめた「まち☆ベジ BOOK」の配布や、デジタルサイネージを活用したPR動画の配信、子どもセンター及びJA町田市と連携したイベント開催等を通じ、町田産農産物「まち☆ベジ」をPRして地産地消を推進しました。その結果、子育て世帯のうち「まち☆ベジ」を購入したことがある人の割合は、目標値（38%）を大きく上回る69%となりました。



## 施策 3-1

# ビジネスしやすく、 働きやすい環境をつくる

### 施策実現によってなりたい姿

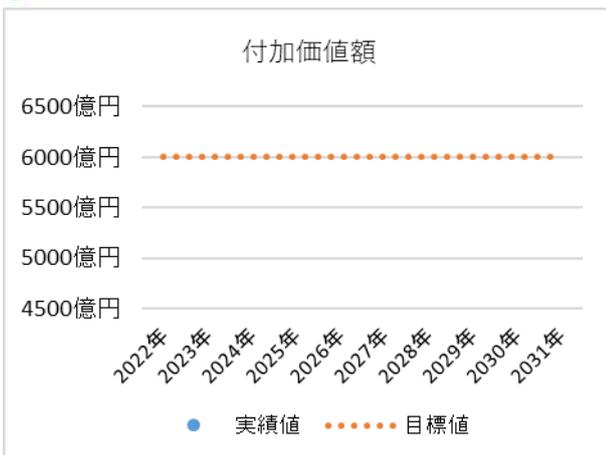
- 多様な働き方が実現できるまちとして、多くの人に選ばれるとともに、ビジネスに適した環境として、多くの事業者からも選ばれるまちになっています。
- 立ち上げる・広げる・つなぐチャレンジの支援を通じて、起業・創業がしやすい風土が根付き、事業から新しい価値が生まれるとともに、優れた技術・ノウハウが次世代に受け継がれるまちになっています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



※経済センサス（活動調査）によって概ね4年に1回調査されており、2024年度は調査未実施のため「-（ハイフン）」としています。

### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 起業・創業の魅力を発信
- 事業者の次代を担う人材を育成
- 働きやすいまちづくりの推進
- 事業者の新分野・新技術への進出支援
- 円滑な事業承継の推進

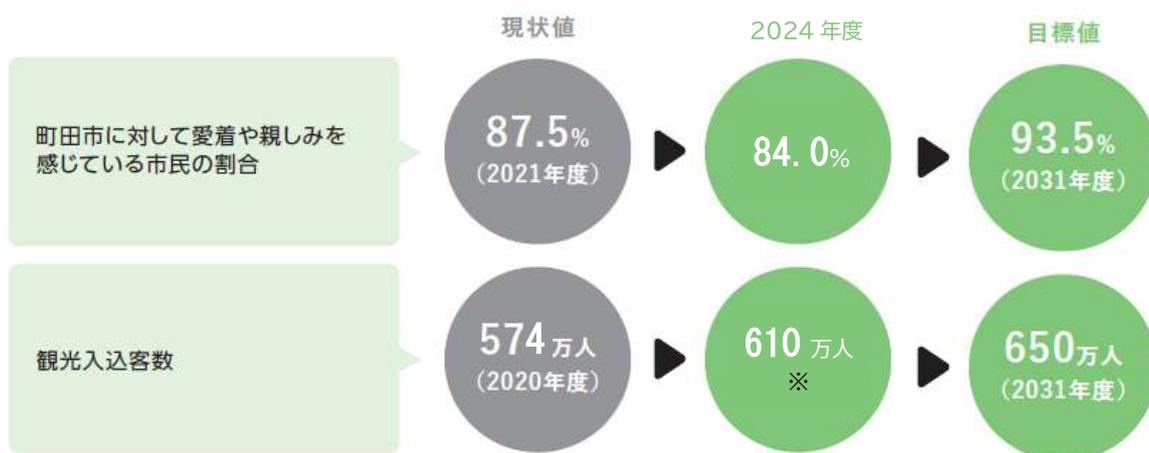
## 施策 3-2

# 町田ならではの 地域資源をいかす

### 施策実現によってなりたい姿

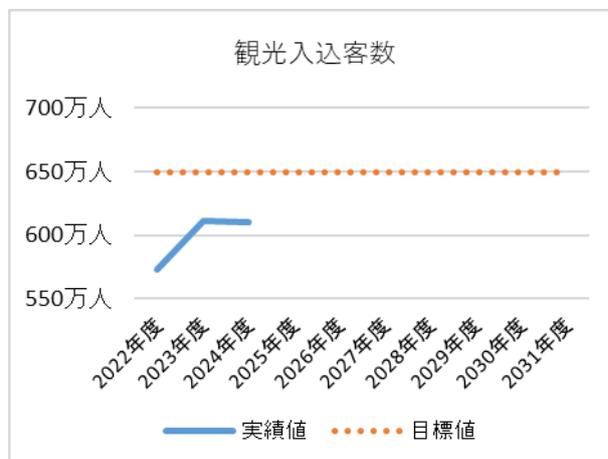
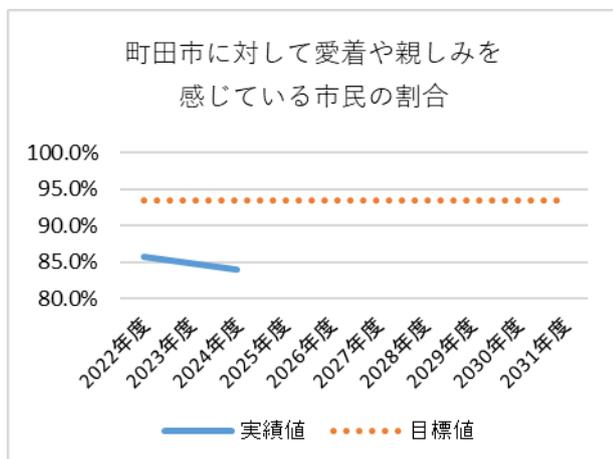
- 子育て・教育や経済・観光、スポーツ・生涯学習、地域活動などのまちの魅力が、「町田ならではの地域資源」として認識されています。
- メディアや口コミ、WEB(SNS)などを通して発信されることにより、市内外の人との交流が生まれ、町田に対する市民の誇り・愛着や市外からの関心・憧れが育まれています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



※「観光入込客数」は、公表が翌年の10月頃のため、前年（2023年）実績を記載しています。

### 指標の経過



## 施策を実現するための重点事業

- シティプロモーションの推進
- シティセールスの推進
- 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進
- 香山緑地の整備 コラム
- 身近に農のあるまちづくり
- 里山環境の活用と保全

## コラム

### 鶴川香山園と鶴川地区の観光まちづくり

鶴川香山園は、鶴川駅から程近い市街地に残る貴重な緑を保全するとともに、鶴川エリアの観光拠点とすることをコンセプトに掲げ、美しい庭園と存在感のある書院造の建物を活かした、食事も楽しめる都市公園として、2025年1月に開園しました。

鶴川駅を玄関口とする鶴川エリアには、“鶴川香山園”をはじめ、町田市指定史跡の旧白洲邸“武相荘”やアートに触れ、心なごむ“あとリエ・う”など、魅力ある施設が多くあります。

1月の開園にあわせて、鶴川地区協議会主催の地域連携イベント「ようこそ！鶴川 OMOTENASHI（おもてなし）祭り 2025」が2日間に渡って開催され、周辺施設をめぐるスタンプラリーや、ワークショップ等を通して、鶴川エリアの魅力を伝え、多くの方に楽しんでいただきました。



さらに鶴川駅は、J1で熱戦を繰り広げるFC町田ゼルビアのホームスタジアム、町田GIONスタジアムの最寄り駅でもあります。2027年度末に向けて、駅舎のリニューアル工事と北口交通広場の整備等を進めており、駅周辺の交通環境が向上します。新たな観光拠点である鶴川香山園をはじめとして、古民家やスポーツ施設、レジャー施設等の多様な魅力をもつ鶴川エリアをさらに多くの人に知ってもらい、周辺施設や地域の回遊性を高められるよう取り組んでまいります。

胎児期・幼年期  
(0～5歳)

少年期  
(6～18歳)

若壮年期  
(19～44歳)

中年期  
(45～64歳)

高年期  
(65歳～)

政策 /

4

いくつになっても自分の  
楽しみが見つかるまちになる



2024 年度の主な成果

#### 4-1 重点事業③ 新たな学びの支援

デジタルデバインド（情報格差）の解消のため、スマートフォンの基礎操作をマンツーマンで教える「なんでもスマホ相談室」を44回（出張版を含む）開催し、431名の方が参加しました。また、LINE活用や生成AIに関する講座を開催し、学習成果を今後いかせると答えた人の割合が目標値（73%）を上回る91%となりました。



#### 4-2 重点事業⑤ ホームタウンチーム等との連携の推進

ホームタウンチーム（FC町田ゼルビア、ASVペスカドーラ町田）を応援する機運を盛り上げるため、リーグ開幕に合わせた町田駅前デッキへの横断幕やタペストリーの設置、ウォールギャラリーへの壁面装飾を実施しました。また、本拠地の最寄り駅である鶴川駅及び成瀬駅周辺のタペストリーのリニューアル、公共施設への横断幕やのぼり旗の設置、市職員の応援Tシャツ着用、ホームタウンチームと連携したスポーツ体験事業等に取り組み、ホームタウンチームの認知度が目標値（73.7%）を上回る77.8%となりました。

## 施策 4-1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する

### 施策実現によってなりたい姿

- いつでもどこでも学習しやすい環境が整い、学びの機会を逃さないようになっています。
- 学びの成果を発信しやすく、受信しやすいようになっています。
- 学習資源のデジタル化が進むことにより、学びにアクセスしやすい環境になっています。

### なりたい姿の実現度を測る指標

生涯学習活動を行う機会を持つことができた市民の割合

現状値

30.8%  
(2021年度)

2024年度

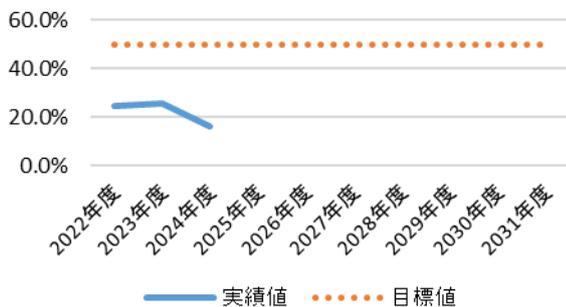
16.2%

目標値

50.0%  
(2031年度)

### 指標の経過

生涯学習活動を行う機会を持つことができた市民の割合



### 施策を実現するための重点事業

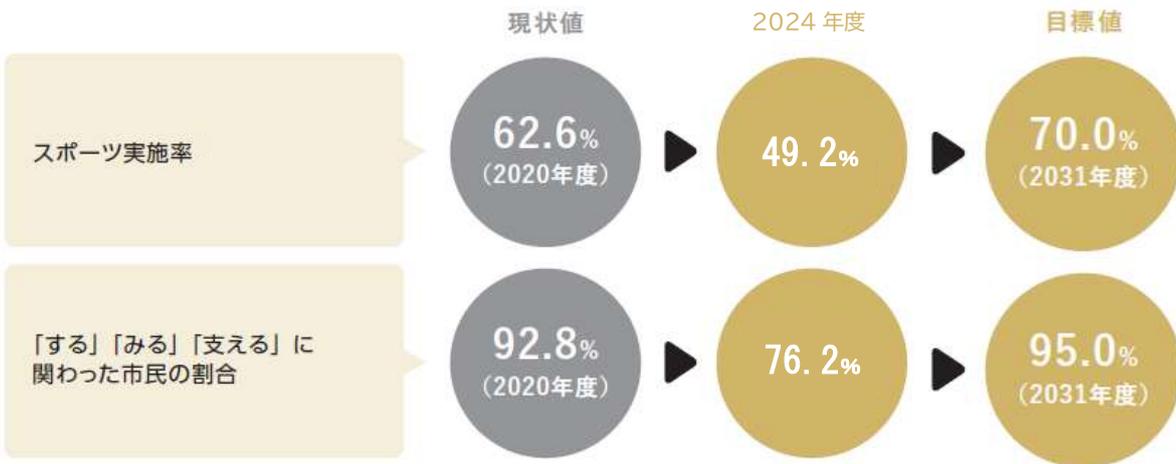
- ワタシが主役の図書館づくりの推進
- 新たな図書館様式の推進
- 新たな学びの支援

## 施策 4-2 スポーツへの参加機会を充実させる

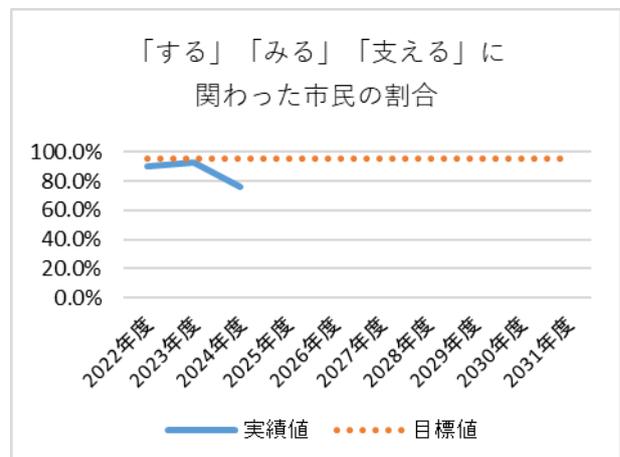
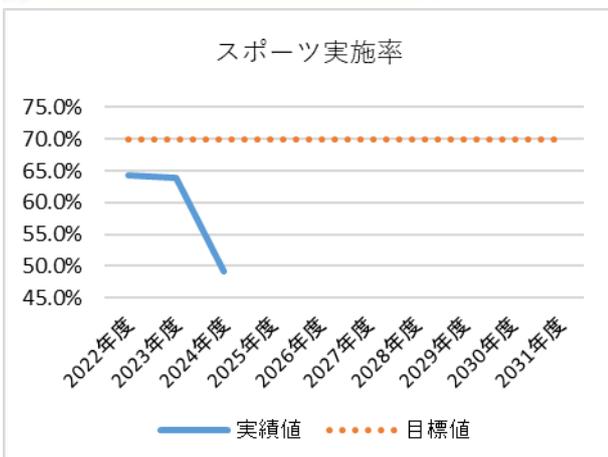
### 施策実現によってなりたい姿

- 「スポーツで人とまちが一つになる」を実現しています。
- 市民誰もがスポーツを楽しむことができ、スポーツを通じて様々な主体が連携して、まちの賑わいと魅力が生まれ、市民の愛着・誇りが高まっています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



## 施策を実現するための重点事業

- 地域のスポーツ環境の充実（再掲）
- 野津田公園スポーツの森の整備
- スポーツをする場の環境整備
- 忠生スポーツ公園の整備
- ホームタウンチーム等との連携の推進

コラム

## コラム

# ～スポーツで人とまちが一つになる～ ホームタウンチームの活躍で町田市が盛り上がっています！

町田市には、サッカーの明治安田 J1 リーグに所属する FC 町田ゼルビアと、フットサルの F リーグディビジョン 1 に所属する ASV ペスカドーラ町田の、2 つのホームタウンチームがあります。

2024 年のシーズンはそれぞれのリーグで 3 位と 4 位と上位に入り、両チームの活躍にまちも大きく盛り上がりました。

## チームのマスコットキャラクター



FC町田ゼルビア ゼルビー



ASV ペスカドーラ町田 ドーラくん

2024 年に念願の J1 リーグへの昇格を果たした FC 町田ゼルビアは、ホームスタジアムである町田 GION スタジアムでシーズン平均 10,000 人を超える観客数を記録し、市外からもたくさんの方が町田市を訪れ、まちの魅力を感じていただきました。

また、ホームタウンチームは日ごろから市内の学校や高齢者施設への訪問、美化活動や地域のお祭りへの参加など、幅広い活動を通じてまちを元気にしています。町田市はこれからも、ホームタウンチームの活動をさまざまな形で後押しし、スポーツを通じてまちをさらに盛り上げていきます！



胎児期・幼年期  
(0～5歳)

少年期  
(6～18歳)

青壮年期  
(19～44歳)

中年期  
(45～64歳)

高年期  
(65歳～)

政策 /

5

## 人生の豊かさを 実感できるまちになる



2024年度の主な成果

### 5-1 重点事業① 地域介護予防活動支援

「町トレ」など介護予防活動を行う地域のグループに対して、実技指導や体力測定等を行い、継続的な活動を支援しました。チラシや希望者への事業説明等を通じて効果の周知を行ったことで、15グループが新たに活動を開始し、累計数は目標値（210団体）を上回る225団体になりました。また、65歳以上の方の健康を維持することを目的に、登録施設等でボランティアを行うと次年度に商品券等に交換できる「いきいきポイント制度」を推進しました。



### 5-2 重点事業①

#### 認知症の人やその家族の居場所づくり

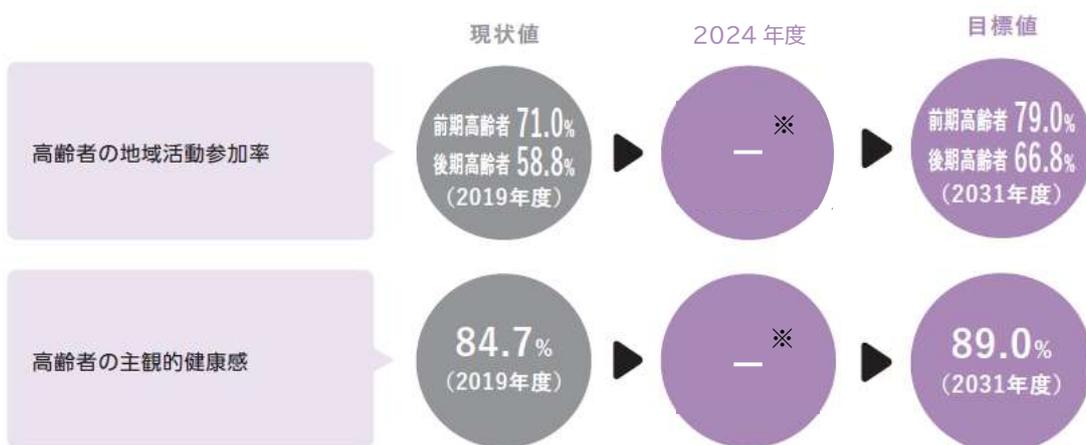
「認知症とともに生きるまち」を実現するため、認知症の人やその家族、医療福祉関係者、学生等、幅広い方々とともに、認知症の人と一緒にいる地域活動のアイデアを話し合う「“やりたい”思いをつなぐワークショップ」等を開催し、109人が参加しました。

# 施策 5-1 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる

## 施策実現によってなりたい姿

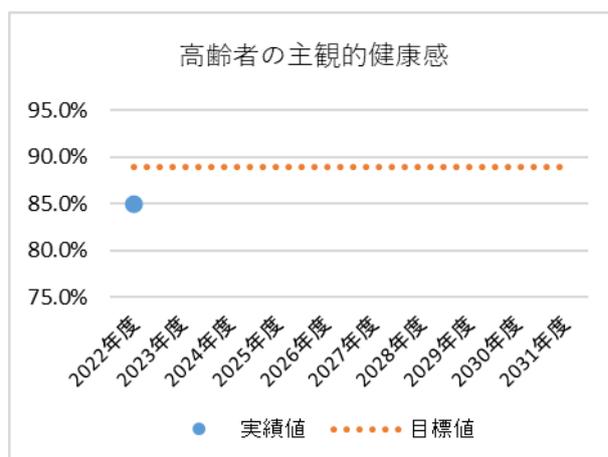
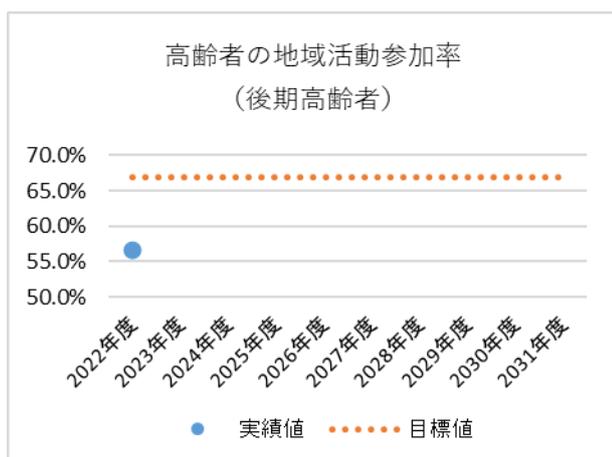
- 高齢者が住み慣れた地域で、地域の一員としていきいきと暮らすことができます。

## なりたい姿の実現度を測る指標



※「健康とくらしの調査」によって、3年に1回調査されており、2024年度は調査未実施のため「—（ハイフン）」としています。

## 指標の経過



## 施策を実現するための重点事業

- 地域介護予防活動支援

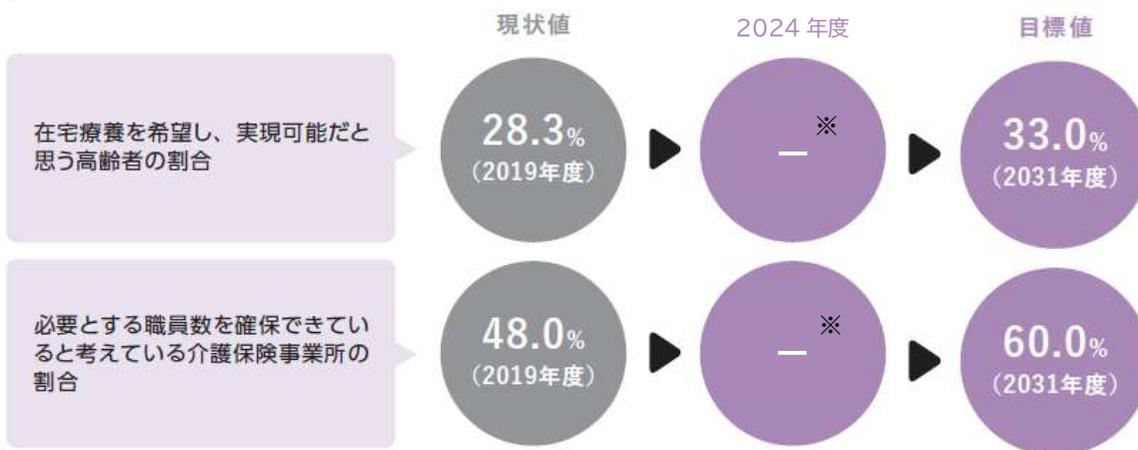
## 施策 5-2

# 高齢者を地域で支える体制をつくる

### 施策実現によってなりたい姿

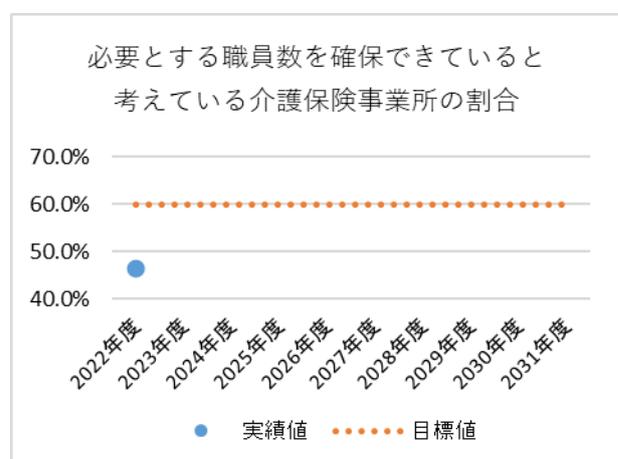
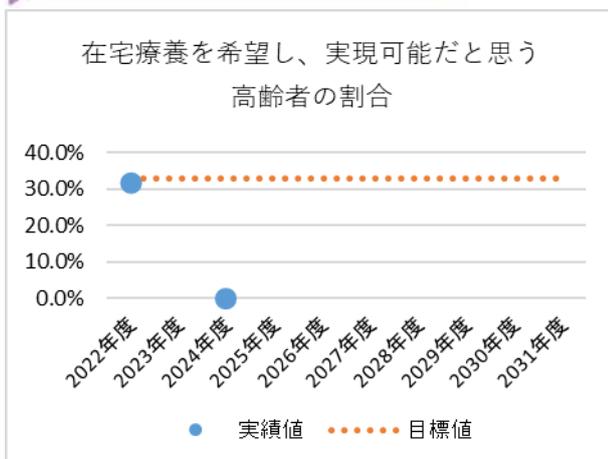
- 支援が必要になっても、支え合いにより住み慣れた地域で生活できています。
- よりよい介護サービスを安心して利用し続けることができます。

### なりたい姿の実現度を測る指標



※「健康とくらしの調査」及び「高齢者の福祉や介護に関する調査」によって、3年に1回調査されており、2024年度は調査未実施のため「-（ハイフン）」としています。

### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 認知症の人やその家族の居場所づくり
- コラム
- 介護人材の確保・育成・定着

## 認知症の人とつুক্ত「16のまちだアイ・ステートメント」

国が2024年1月に制定した「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会の実現を推進するとしています。

町田市においては、2016年度に認知症の人を含めた幅広いメンバーで話し合い、認知症の人にとってどのようなまちであってほしいかを、「アイ=私」の視点で16の文章にまとめた「16のまちだアイ・ステートメント」を作成し、まちづくりの目標としています。

「16のまちだアイ・ステートメント」を実現するための取り組みとして、認知症の人やその家族が集まり、認知症に関する情報交換や悩みなどを共有できるDカフェや、認知症の人や住民、企業、地域団体等が集まり、認知症の人と一緒に地域活動について話し合うワークショップ、認知症の正しい理解を普及することを目的とし、認知症の人が自分の気持ちを発信できるイベント（まちだDサミット）などを実施しています。

町田市はこれからも、地域住民をはじめ、多種多様な分野の団体等と「16のまちだアイ・ステートメント」の理念を共有し、認知症の人も地域の中で自分らしく活躍できる「認知症とともに生きるまち」を目指します。



まちだDサミットの様子

### 16のまちだ アイ・ステートメント 9

私は、しごとや地域の活動を通じて、やりたいことにチャレンジし、地域や社会に貢献している。

### 16のまちだ アイ・ステートメント 16

私たちも、認知症の人にやさしいまちづくりの一員です。

# 全世代に向けて

政策 /

## 6

### つながりを力にする まちになる



2024 年度の主な成果



#### 6-1 重点事業① 地域活動団体支援

団体・個人の活動を支援するプログラムや、新たなチャレンジに助成金を交付する「まちだづくり応援基金」等により 47 団体の活動の活性化につなげました。また、「まちカフェ！」開催に向け、参加団体の交流の場「まちカフェ！」オープンデーの実施や、「まちカフェ！」で協働イベントを促進するワークショップを開催し、新たに 21 件のマッチングが実現しました。

#### 6-1 重点事業③ 地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化

2024 年 10 月に、新たに 4 地区に地域福祉コーディネーターを配置し、活動拠点として忠生地域と南地域に「まちだ福祉〇（まる）ごとサポートセンター」を開設しました。開設以降、忠生地域では 620 件、南地域では 470 件の相談を受け、堺地域・鶴川地域の相談件数も年間 1,000 件を超えており、地域相談の窓口として重要な役割を果たしています。



#### 6-2 重点事業③ プラスチックごみの減量の推進

民間事業者と連携し、新たに 4 ヲ所の公共施設にマイボトル専用給水器を設置しました。また、ゲーム作品とコラボした環境を楽しく学べるイベント「まちだ ECO to ゴー・ラウンド！」を薬師池公園等で実施し、延べ約 5.7 万人の来場がありました。それらの取り組みの成果もあり、容器包装プラスチック削減量は目標値（800t）を上回る 1,025t となりました。

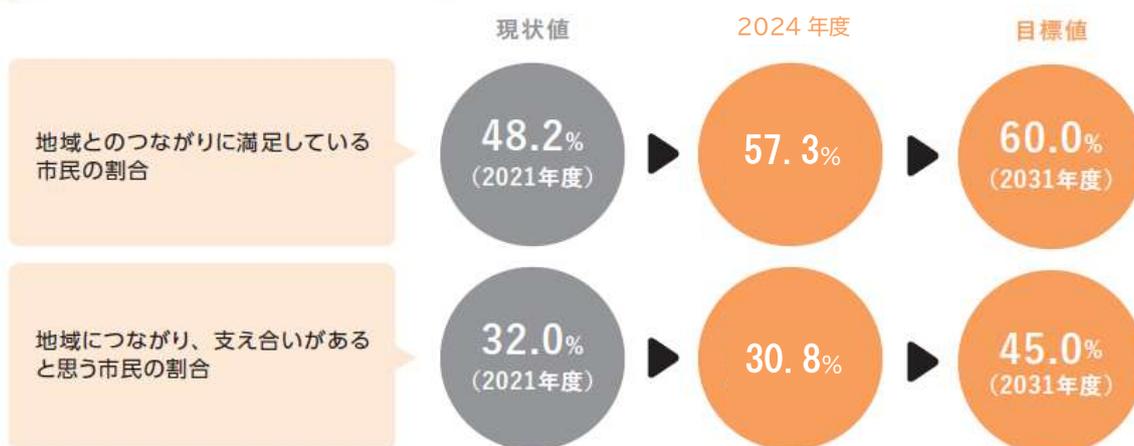
## 施策 6-1

# つながり、支え合える 基盤をつくる

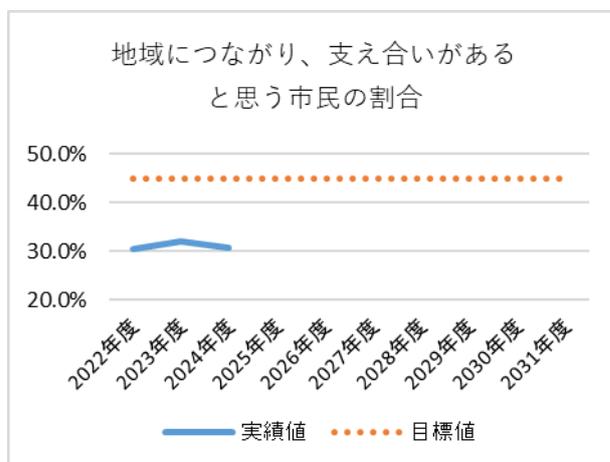
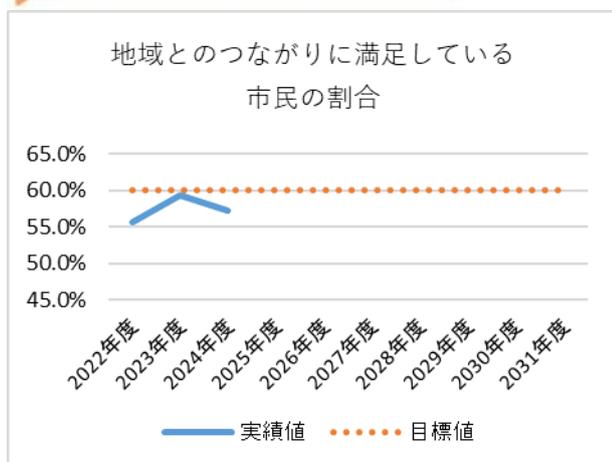
### 施策実現によってなりたい姿

- 地域や人との多様な関わり方がある中で、「自分ゴト」として地域活動への参加がしやすい状態になっています。個人の「やりたいこと」「できること」と地域ニーズとのマッチングが進み、より多くのつながりが創出されています。
- 市民、事業者、行政などが一体となって地域課題の解決に取り組むことで、新たなアイデアや活力が創出されています。
- 地域自らが地域の課題を把握し、支援につなげることができています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 地域活動団体支援 コラム
- ワタシが主役の図書館づくりの推進（再掲）
- 地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化

## “志を応援しあうまち”を目指して

### 市内で活動する方々の新たなチャレンジを応援したい

そんな思いを持つ方からの寄付を基に、町田市地域活動サポートオフィスが「まちだづくり応援基金」を2024年度に設立しました。

「まちだづくり応援基金」を通して、様々な方が町田市内で活動している個人・団体の新しくユニークな“小さなチャレンジを後押し”できる環境を作り、町田が“志を応援しあうまち”となることを目指しています。



### 新しくユニークな“小さなチャレンジを後押し”する

本基金では、「一般的な助成制度」の対象とならないような“小さなチャレンジを後押し”するために個人の活動も対象にしています。助成額は、活用しやすい小規模なもので、かつサポートオフィスの職員がチャレンジの実施に向けて伴走支援を行うことにより活動の実現を後押ししています。2024年度は6団体、2個人の活動をサポートしました。チャレンジ終了後は、助成を受けた団体・個人が登壇する寄付いただいた方への報告会やチャリティイベントも実施しています。

#### 「まちだづくり応援基金」による助成

- 町田市内で活動する団体だけでなく、市内で活動する個人も対象としている。
- 新たなチャレンジを対象としている。
- “小さなチャレンジ”を後押しするために助成額は最大5万円としている。
- チャレンジの実施に向けて伴走支援を行う。

#### 一般的な助成制度

- 市民活動を行う個人は対象外としている。
- 従来と同じ取り組みでも対象としている。
- 事業規模が大きくインパクトが大きいものに助成をしがち。
- 事業実施の伴走支援はない。

### “志を応援しあうまち”になる

「町田に暮らす方、町田に想いがあるけれども地域活動に直接取り組めない方が町田で志を持って活動する方を応援できるまちになれば」という寄付者の想いを基に、本基金を設立しました。

様々な方が各々の形で“小さなチャレンジを後押し”している状態が“志を応援しあうまち”の姿だと信じています。

その姿に近づくために1円からでも寄付ができる新たな地域活動への参加のトビウとして、「まちだづくり応援基金」を設立しました。



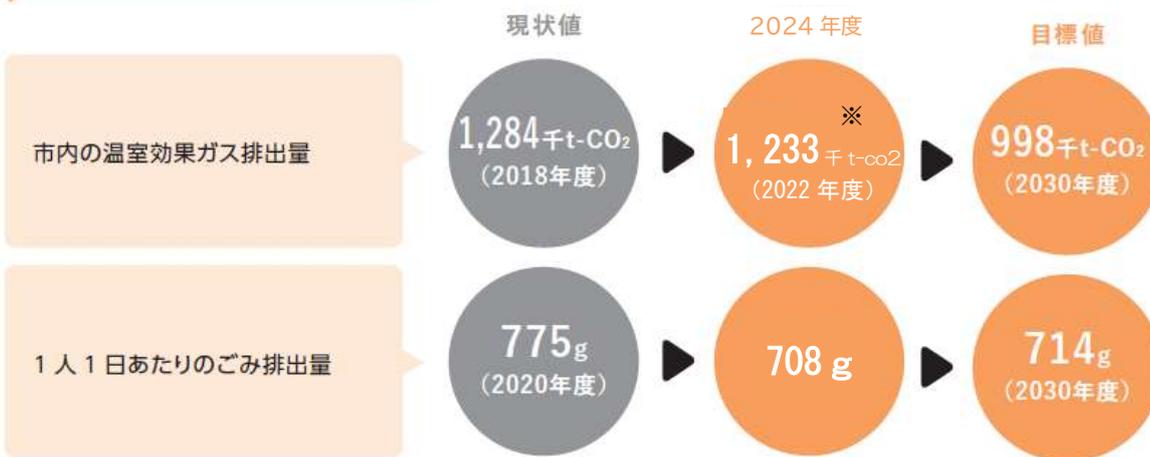
## 施策 6-2

# みんなで将来に受け継ぐ 持続可能な環境をつくる

### 施策実現によってなりたい姿

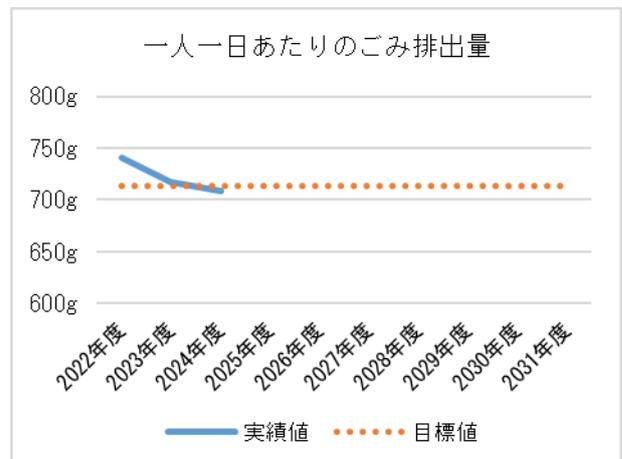
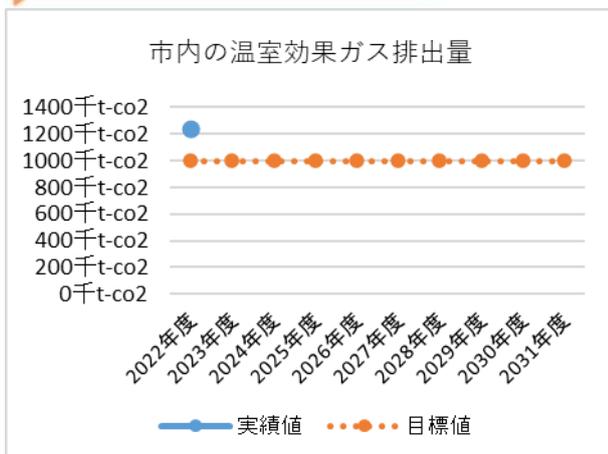
- 市民、事業者、行政が協力して、地球温暖化対策や生物多様性<sup>\*</sup>の保全に取り組み、次の世代が暮らしやすい環境が受け継がれています。
- 市民、事業者、行政が協力して、ごみの発生抑制、適正処理、リサイクルを行っています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



※「市内の温室効果ガス排出量」は、公表が翌々年度の3月頃のため、直近（2022年度）実績を記載しています。

### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 地球温暖化対策の推進
- プラスチックごみの減量の推進
- 資源循環型施設の整備

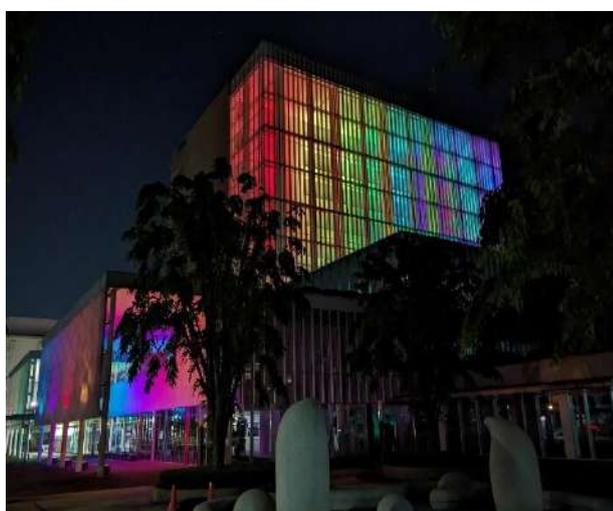
# 全世代に向けて

政策 /

# 7

## ありのまま自分を 表現できるまちになる

2024 年度の主な成果



### 7-1 重点事業① 性の多様性への理解の促進

2023 年度から導入した「町田市パートナーシップ宣誓制度」の理解促進に向け、シティプロモーションサイトにおいてパートナーシップ宣誓者インタビュー掲載等の様々な情報発信を行った結果、3 件の宣誓がありました。また、2024 年度は新たに養護教諭向け研修を実施し、教育に携わる方へのアプローチを通じて、児童・生徒の理解促進にもつなげました。

### 7-1 重点事業② 障がい者差別解消推進

2024 年 10 月 1 日に「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」を施行しました。子どもセンターや学校、「二十祭まちだ」会場等に出向いて条例の周知を行ったほか、町田商工会議所や事業者と連携して障がいのある方を交えた合理的配慮の勉強会を行う等、47 回の出前講座を実施しました。また、障害者週間に合わせて共生社会についての講演会や東京 2025 デフリンピックの紹介展示等を開催し、市民や事業者の障がいに対する理解を促進しました。



# 施策 7-1 一人ひとりの個性を大切に する地域をつくる

## 施策実現によってなりたい姿

- 誰もが安心して快適に住み続けることができる地域社会になっています。
- 必要な人に、必要となる配慮や支援が届けられる環境が整っています。
- 一人ひとりの人権を尊重し認め合い、その人の個性と能力を十分に発揮することで、その人らしくいきいきと生きることができています。

## なりたい姿の実現度を測る指標

性別、信条、職業、国籍、障がいなどによる差別がないと思う市民の割合



## 指標の経過

性別、信条、職業、国籍、障がいなどによる差別がないと思う市民の割合



## 施策を実現するための重点事業

- 性の多様性への理解の促進
- 障がい者差別解消推進
- 成年後見制度の利用支援

コラム

## 心のバリアフリーと情報バリアフリー ～みんなが暮らしやすいまちをつくらう～

町田市では、障がいの有無や年齢等にかかわらず、全ての人が共生する社会「ユニバーサル社会」を実現するため、「まちだユニバーサル社会推進計画（第3次町田市福祉のまちづくり推進計画）」に基づき、“心のバリアフリー”及び“情報バリアフリー”の普及啓発に取り組んでいます。

### 【心のバリアフリー】

「心のバリアフリー」とは、心の中にある先入観、偏見等の障壁を取り除き、すべての人の存在をお互いに理解し、支え合う考え方のことをいいます。

「障害の社会モデル」の理解をより深めるため、2025年4月に「心のバリアフリーハンドブック」を改定しました。本ハンドブックは、小学校の総合的な学習の時間における障がい者理解の学習に活用してもらえよう、ワーク型を採用しています。

市立小学4年生を対象に毎年度配布を行うほか、市民への普及啓発として、研修等で活用していきます。



▲心のバリアフリーハンドブック

### 【情報バリアフリー】

「情報バリアフリー」とは、日常生活や社会生活において、情報の取得や利用、意思疎通を行うことに困難を感じている方でも情報を容易に得られる状態のことをいいます。

文字だけでは情報を得られない人には音声での情報を、音声だけでは情報を得られない人には手話や文字での情報を提供するなど、情報を取得するためにはそれぞれの特性に応じた方法があります。

2025年4月に改定した「情報バリアフリーハンドブック」では、すべての人が等しく情報を得られるよう、多様なニーズに応じた情報提供方法について紹介しています。

主に情報発信を行う市職員や民間の事業者を中心に、広く市民へ普及啓発活動において、本ハンドブックを活用します。



▲情報バリアフリーハンドブック

2024年10月に施行した「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」では、市や事業者だけでなく、市民一人ひとりが、今なお社会に存在する様々な障壁や、障がいに対する誤解や偏見をなくし、すべての人がお互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指しています。

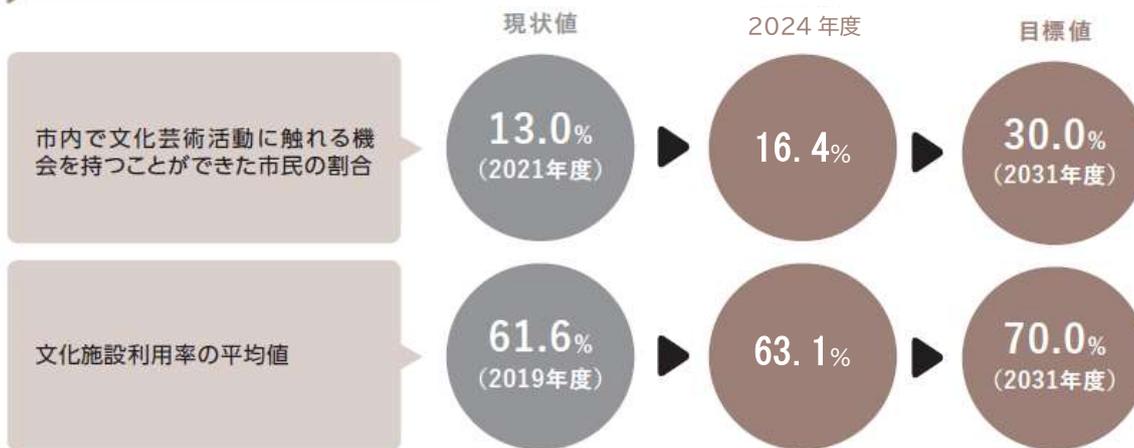
共生社会の実現には、心のバリアフリーや情報バリアフリーの取組がかかせません。市民一人ひとりにこれらの取組が浸透していくよう、引き続き普及啓発活動に取り組んでまいります。

## 文化芸術に親しめる 環境・機会を充実させる

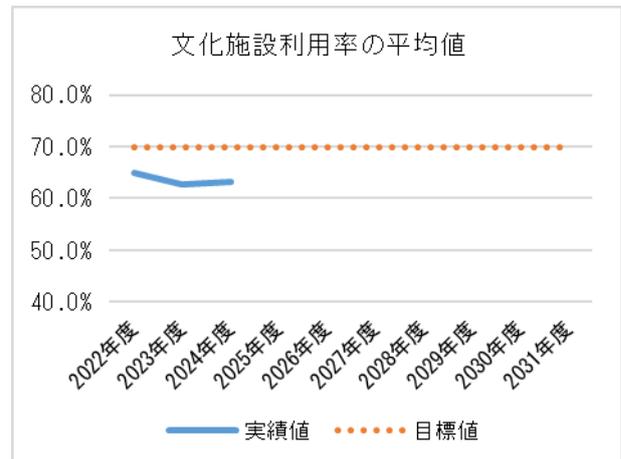
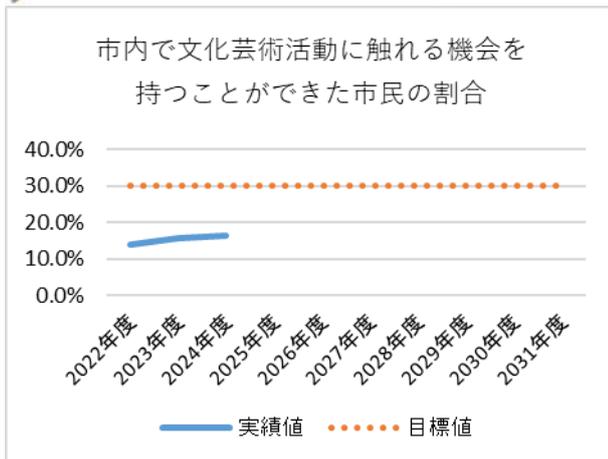
### 施策実現によってなりたい姿

●「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化芸術を楽しむまち」になっています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 芹ヶ谷公園「芸術の杜」パークミュージアムの整備

# 全世代に向けて

政策 /

## 8

### 思わず出歩きたくなる まちになる



2024年度の主な成果

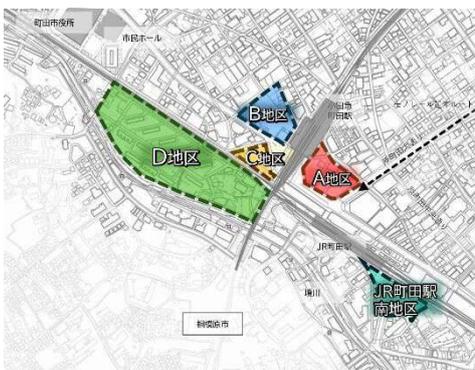


#### 8-1 重点事業⑥ 鶴川駅周辺のまちづくりの推進

再整備に取り組んでいる鶴川駅周辺において、北口交通広場、新しい駅舎に接続する南北自由通路の整備工事を計画通りに進めました。また、南口の土地区画整理については雨水調整池工事や物件移転等を進めるとともに、南口のアクセス道路整備についても用地取得と道路改良工事を計画通りに実施しました。

#### 8-2 重点事業② 忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進

忠生・北部丘陵地区において、豊かなみどりの活用を促進するため、官民が連携する「まちだみどり活用ネットワーク」を運営し、里山体験のワークショップや「ずしまちいち」などのイベントを実施しました。また、シンポジウム開催や、まちカフェへのブース出展といった新たな取り組みを通して、ネットワークの活動を周知しました。



#### 8-2 重点事業④ 町田駅周辺地区のまちづくりの推進

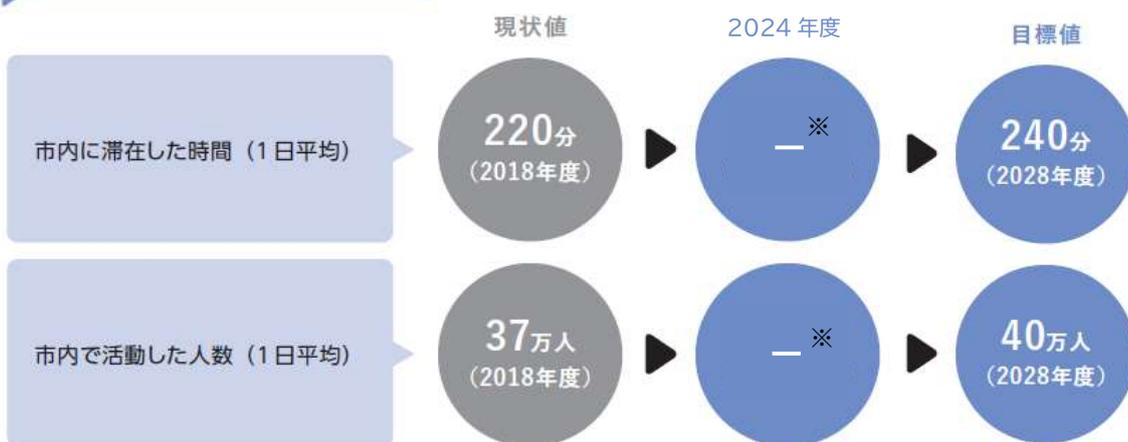
官民一体でのまちづくりを推進する共通指針として、市民や中心市街地の事業者等との意見交換会や説明会を経て、2024年6月に「町田駅周辺開発推進計画」を策定しました。また、町田駅周辺の各地区でまちづくり勉強会やまちづくり協議会を開催し、地権者の方等と再開発に向けた検討を進めました。

# 施策 8-1 気軽に外かけてつながれる環境をつくる

## 施策実現によってなりたい姿

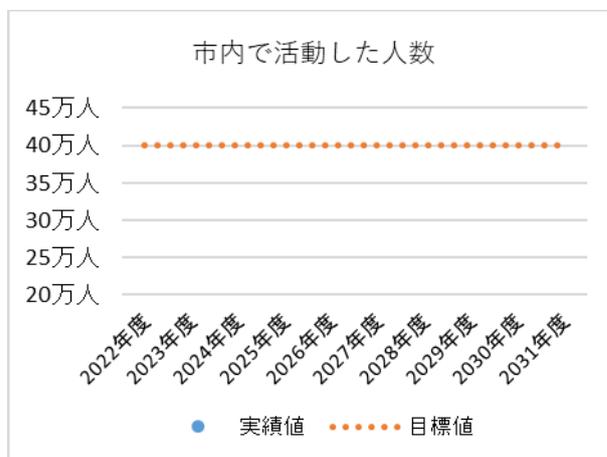
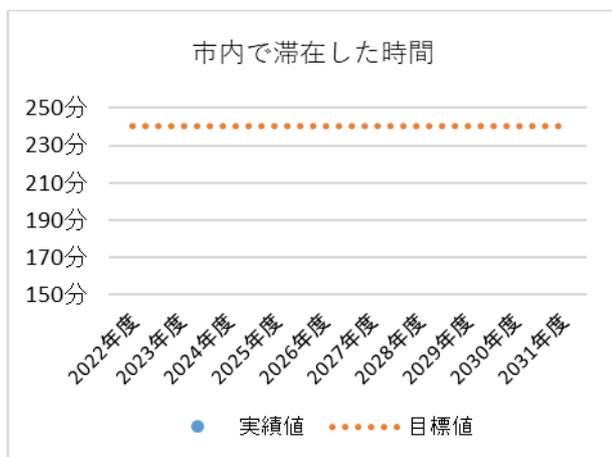
- 多様な交通手段の中から自分に合った方法を選んで、目的地まで快適に移動ができています。多くの人が市内への外出を楽しんでいると感じており、まちなかで活動する人が増えています。
- 日常生活に必要なモノ・サービスに簡単にアクセスできる環境が整っています。多くの人が市内で活動する便利さや快適さを感じており、様々な活動の場として選ばれています。

## なりたい姿の実現度を測る指標



※「市内に滞在した時間」「市内で活動した人数」は、概ね10年に1回のパーソントリップ調査によって調査されており、2024年度は調査未実施のため「- (ハイフン)」としています。

## 指標の経過



## 施策を実現するための重点事業

- 小さな交通・地域で支える交通環境の整備
- 大きな・速い交通の整備
- 自転車利用環境の整備
- 都市計画道路の整備
- 準幹線道路の整備
- 鶴川駅周辺のまちづくりの推進
- 相原駅周辺のまちづくりの推進

コラム

## ハード・ソフトの両面から 自転車活用を推進しています！



町田市では、2040年の市内での暮らしをイメージした「町田市都市づくりのマスタープラン」方針編（交通）の基本方針である『日常的な移動を多様な担い手・手段で支え、移動しやすい持続可能な交通環境をつくること』を将来的な目指す姿とし、その実現に向けて、ハード・ソフト両面で自転車活用を総合的かつ計画的に推進するため、2022年度から2026年度までの5年間を計画期間とした『町田市自転車活用推進計画』を2022年3月に策定しました。

本計画に基づき、ハード・ソフト両面から自転車活用の推進に取り組んでいます。



シェアサイクルサービス「HELLO CYCLING」

2022年3月から、スマートフォンやパソコンを使って簡単に自転車をレンタルし、移動することができるシェアサイクルサービス「HELLO CYCLING」を展開しており、市内にステーション※1が110箇所（2025年3月末時点）あります。2024年度は215,420回の利用がありました。

※1 ステーション 自転車を借りたり返したりするための専用駐輪場のこと。

誰もが安全安心に自転車で通行できる空間を整備するために、2024年3月に策定した「町田市自転車ネットワーク計画」に基づき、計画的な整備を進めています。

2024年度は、町田駅前通り（市道忠生1300号線他）をはじめとする約1.8kmの自転車専用通行帯※2の整備を行いました。

※2 自転車専用通行帯 自転車が安全かつ快適に走行できるように、車道の一部を自転車専用に分けた走行区間のこと。



町田駅前通り自転車専用通行帯整備状況



小学校自転車教室実施状況

誰もがルールを守り安心して自転車を利用できる環境づくりに向け、市立小学校全42校の3年生を対象とした小学校自転車教室や、市立中学校6校の生徒を対象にスタントマンによる中学校自転車教室などを実施しました。また、落語家が自転車の交通ルールを教える動画を新たに公開しました。これらの取組により、2024年度は27,037人に、自転車の交通ルールやマナーについて理解を深めてもらいました。

## 施策 8-2 ライフスタイルに合わせて 自分らしくまちを使えるようにする

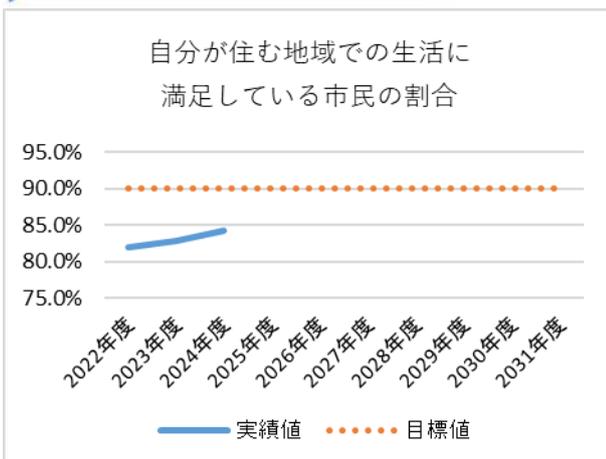
### 施策実現によってなりたい姿

- 拠点駅の近くは「働く」「遊ぶ」「集う」「住む」など多様な使い方ができるとともに、歩く目的に溢れています。楽しい時間を過ごすことができ、新しいことが生まれ、人々の出会いや活動のつながりが広がり続けるようなまちが形成されています。
- 多様な選択肢から自分に合った住まいや働き方が選んでいます。市内だけでなく市外からもライフステージに合わせた住み替えが進み、多世代交流・共生のまちが形成されています。
- 身近な公園や農地などのオープンスペースを柔軟に使える環境と、多様な活動を推進する仕組みが整っています。多くの人々が身近なオープンスペースで思い思いに活動し、日常的にまちを使うことで地域への愛着が醸成されています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

- 団地再生の推進
- 木曾山崎団地地区のまちづくりの推進
- 中心市街地の賑わい空間の創出
- 忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進
- 町田駅周辺地区のまちづくりの推進

コラム

## ～“夢”かなうまちへ～ 町田市中心市街地まちづくり 「原町田大通り憩いと賑わい空間を創造するプロジェクト」

2025年3月、町田市の中心市街地に新たなランドマークが誕生しました。それが、「町田駅前交流拠点 はっとまちだ」です。

「はっとまちだ」は、かつて民間交番があった場所に立ち、高さは8メートル、帽子風の丸みを帯びた銅葺き屋根を持つおしゃれな建物です。

訪れる人々を「はっと」させるこの建物は、町田の新たなシンボルとして注目を集めています。



2025年3月30日 「はっとまちだ」開所式



「spot」の日常

「はっとまちだ」は、都市再生推進法人である株式会社町田まちづくり公社が運営し、駅前地域の案内やイベント情報の発信、さらには商品販売を行います。隣接する植栽に囲まれた休憩スペース「spot」とともに、人と人をつなぎ、夢をかなえる拠点としての役割を担っています。

市は、町田駅周辺が「何度でも訪れたい魅力的なエリア」となることを目指し、2016年に「町田市中心市街地まちづくり計画～夢かなうまちへ～」（通称：夢まち計画）を、中心市街地の商店街などの皆さんとともに策定しました。

まちづくりの「道しるべ」であるこの「夢まち計画」のプロジェクトの一つが、「原町田大通り憩いと賑わい空間を創造するプロジェクト」です。

このプロジェクトは、1日平均19万6千人が乗降するJR町田駅から、文化芸術の杜である芹ヶ谷公園に向けて、約500メートルまっすぐ延びる原町田大通りにおいて、通りを活用し、商店街の賑わい向上を目指す取り組みです。

2019年度から2021年度にかけ、通りを活用した社会実験を実施しました。

社会実験では、一時的に車両を通行止めにしての出店や、車線規制による“パークレット”を設置するなど、通りの新たな可能性を探りました。これらの取り組みを経て、原町田大通りは2025年3月に、4車線あった通りを2車線に変更し、歩道を拡げ、人々が集い、つながり、楽しむための空間へと変貌を遂げました。



広がった歩道空間は、癒しと心地よさを提供する植栽や、デザイン性の高い木製ベンチを配置し、「ほっと一息」つける空間「はっと terrace」として生まれ変わりました。

「はっと terrace」が、憩いと賑わいを向上させる新たな舞台装置として、多くの方に“憩いの空間”や“誰かと一緒に楽しむまち”、あるいは“思い思いの時間を過ごせるまち”を体感していただける場となっています。



「はっと terrace west」の日常



イベント開催時の様子



工事前の原町田大通り



工事後の原町田大通り

2025年3月のオープン以来、オープンカフェやハンドメイドアクセサリーの販売、ワークショップイベント、大道芸など、多彩な交流イベントが展開され、人と人の交流から生まれるワクワク感や体験が町田市への愛着を深め、多くの人々に新たなチャレンジマインドを芽生えさせています。



今後も、株式会社町田まちづくり公社や商店街、市内事業者の皆さまとともに、原町田大通りを活用し、さらなるチャレンジを展開してまいります。“夢”かなうまちを目指し、町田市の魅力を高め続けていきます。

## 施策 8-3

# 健やかで心地よい時間を 過ごせる環境をつくる

### 施策実現によってなりたい姿

- 地域の特色に合わせたみどりの空間づくりにより、多彩で豊富なみどりがまちを象徴する魅力の一つに育っています。多くの人がみどりの中で日常的に心地よい時間を過ごし、みどりを馴染み深い場所と感じています。
- みどり(公園、農地、里山など)を活用した地域住民の能動的な活動が促され、地域内資源の循環が促進されています。
- 都市農地 の保全と利活用により、農地の多面的機能が発揮されています。

### なりたい姿の実現度を測る指標

みどりの環境に満足している  
市民の割合

現状値

79.8%  
(2021年度)

2024年度

86.5%

目標値

90.0%  
(2031年度)

### 指標の経過

みどりの環境に満足している  
市民の割合



### 施策を実現するための重点事業

- 芹ヶ谷公園”芸術の杜”パークミュージアムの整備 (再掲)
- 野津田公園スポーツの森の整備 (再掲)
- (仮称) 蓮田公園の整備
- (仮称) 大戸広場の整備
- 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進 (再掲)
- 香山緑地の整備 (再掲)
- 忠生スポーツ公園の整備 (再掲)
- 都市農地の保全活用の取り組み

# 全世代に向けて

＼ 政策 /

## 9

### みんなが安心できる 強いまちになる



2024 年度の主な成果



#### 9-1 重点事業① 自主防災リーダーの育成

マンション防災をテーマに、町田第一地区でマンション管理セミナーを実施しました。また、南地区ではトヨタモビリティ東京南町田店と連携したマンション防災イベントを実施し、発災時を想定したベランダの蹴破り戸の蹴破り体験や、ポリ袋を使用した料理体験などを通じて、在宅避難に必要な知識を周知しました。

#### 9-1 重点事業⑦ 住宅の耐震化の促進

地震被害の低減のため、耐震性に不安がある住宅の所有者へ耐震診断の案内を約 3,800 通送付し、昨年度を大きく上回る 230 件の簡易耐震診断を実施しました。また、各種費用助成件数（木造住宅の耐震化：78 件、ブロック塀等の除却：11 件）も 2023 年度を上回りました。



#### 9-2 重点事業② 交通安全ミーティングの推進

高齢者等を対象に、交通安全に関する意見交換を行うミーティングを 6 回実施し、自転車の安全利用に関する認識などを確認しました。ミーティングの結果を踏まえ、いつでもどこでも自転車の安全利用に関する基本的なルールなどが確認できるよう、デジタルによる交通安全学習手法の検討をするとともに、持ち歩き可能な名刺大のチラシを使って、市庁舎イベントスタジオや南町田地下道などで啓発活動を行うことで、交通安全意識の浸透を図りました。

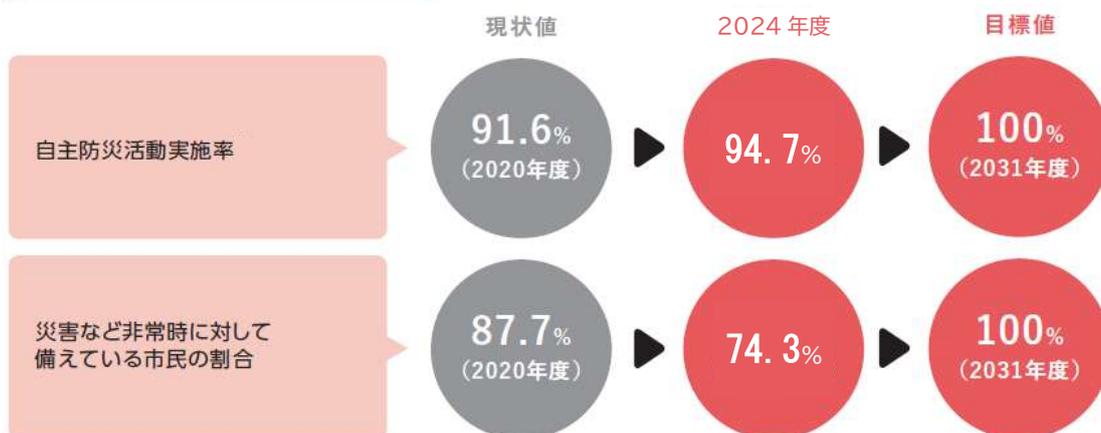
## 施策 9-1

# ひと・まちを 災害に強くする

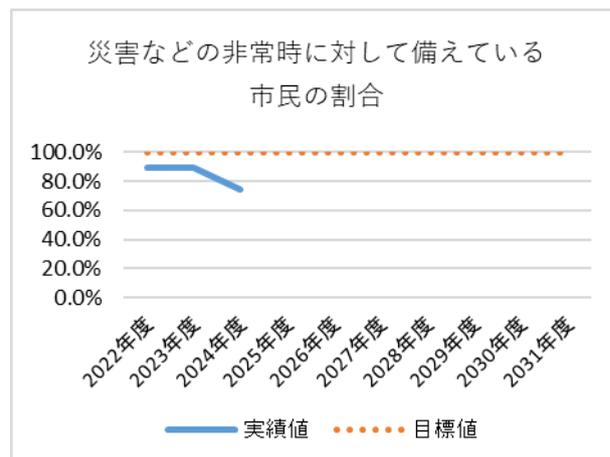
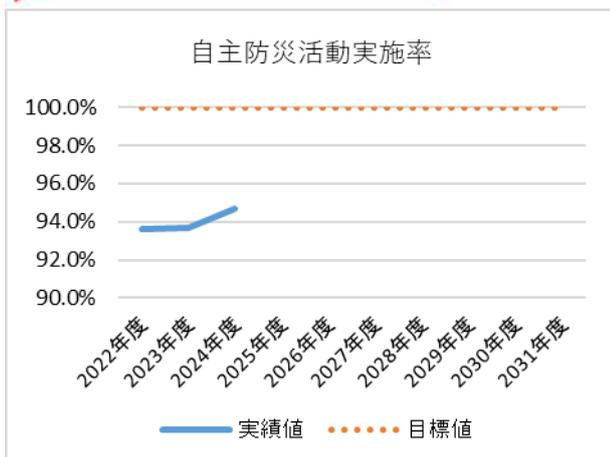
### 施策実現によってなりたい姿

- 市民一人ひとりが、災害に対して備えるとともに、地域における防災活動に積極的に参加することで、地域一丸となって災害に対応する体制が整っています。また、道路などの各種インフラが整備され、災害復旧時に有効活用されています。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

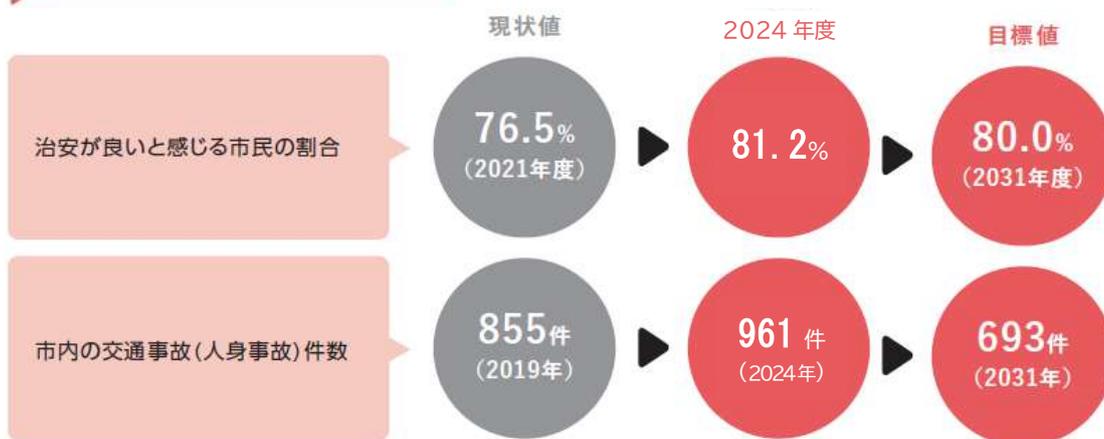
- 自主防災リーダーの育成
- 地震対策（雨水管の耐震化）
- 浸水対策の推進
- 住宅の耐震化の促進
- 避難行動要支援者の避難支援体制整備
- 地震対策（下水道処理施設の耐震化）
- 無電柱化の推進
- 緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化促進

## 施策 9-2 地域の安全を守る

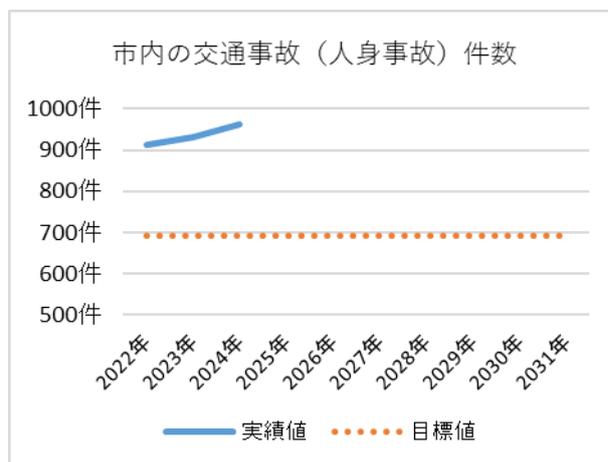
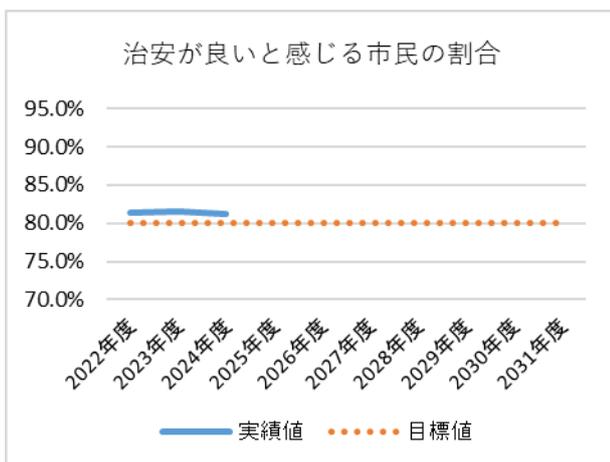
### 施策実現によってなりたい姿

- 町田市で暮らす人が安全に生活でき、町田市を訪れる人が安心して訪れることができます。

### なりたい姿の実現度を測る指標



### 指標の経過



### 施策を実現するための重点事業

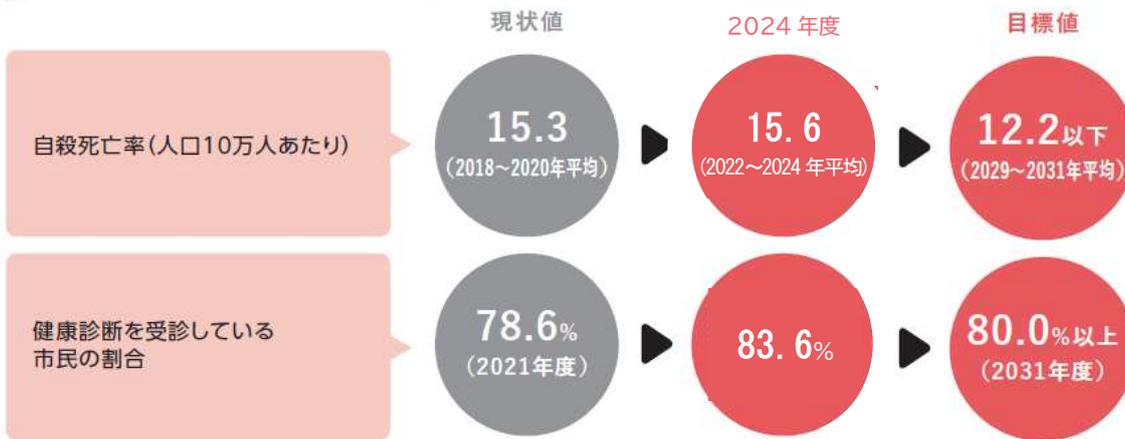
- 協働パトロールの充実
- 交通安全ミーティングの推進
- 踏切道の改良
- 道路安全設備の緊急更新
- 自転車利用環境の整備（再掲）

# 施策 9-3 市民の健康を守る

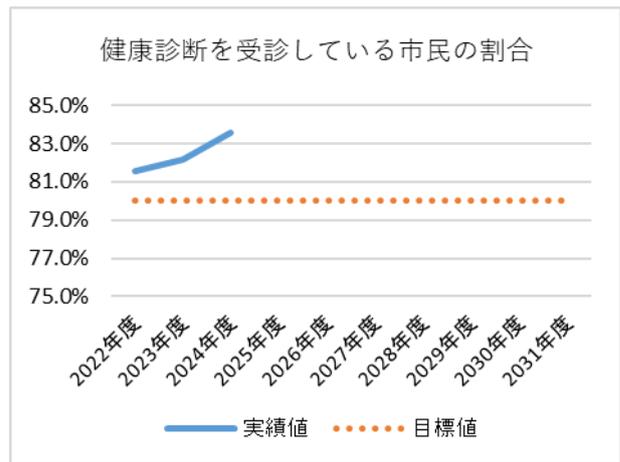
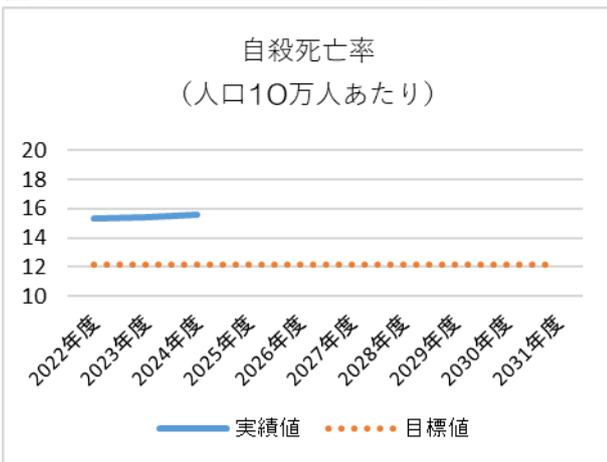
## 施策実現によってなりたい姿

- 心や体の健康が脅かされる危機が発生したときに、市、市民、関係機関などが相互に理解、協力をして健康を守れるようになっています。

## なりたい姿の実現度を測る指標



## 指標の経過



## 施策を実現するための重点事業

- 自殺対策の推進

# 経営基本方針

### 3 経営基本方針の取り組み結果

まちだ未来づくりビジョン2040に掲げる「経営基本方針」及び、町田市5ヵ年計画22-26の「経営改革プラン」について、それぞれ設定した指標の状況や取り組み結果をまとめました。

#### (1) 経営基本方針の到達状況

各基本方針に設定した指標の目標値に対する2024年度の状況を示しています。

なお、目標値は、2022年度から2031年度までの10年間をかけて達成することを目標にした数値です。

基本方針	現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2024年度)
<b>基本方針1 共創で新たな価値を創造する</b>			
必要な時に必要な情報を入手できていると思う市民の割合 <sup>※1</sup>	58.9%	70.0%	57.6%
行政手続きの利便性が向上したと感じる市民の割合 <sup>※1</sup>	49.1%	75.0%	61.9%
多様な主体の連携による地域課題解決のための取り組み数(累計)	-	100件	77件
<b>基本方針2 対話を通して市役所能力を高める</b>			
市役所が社会や環境の変化に即応できていると思う職員の割合	72.6%	85.0%	82.7%
市役所の対応に満足していると答えた市民の割合 <sup>※1</sup>	89.7%	90.0%	92.3%
自分の仕事を見直し、改善していると思う職員の割合	77.0%	90.0%	88.9%
職員の職場満足度	76.2%	80.0%	- <sup>※2</sup>
<b>基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する</b>			
経常収支比率	91.9%	↓	93.8%
実質公債費比率	0.5%	→	0.5%
財政調整基金年度末残高	90億円	90億円	113億円
公共施設の利用者満足度	89.9%	90.0%	70.8%

※1 「市民の割合（〇〇している市民の割合）」の指標については、「2024年度町田市市民意識調査」の無回答数を除いた有効回答数を100%として算出しているため、「2024年度町田市市民意識調査報告書」の数値結果と異なる場合があります。

※2 「職員の職場満足度」の指標については、隔年度調査で、2024年度には実施していないため、実績値を「-（ハイフン）」としています。

(2) 経営改革プランの取り組み結果

各取り組みで設定する、それぞれの指標の2024年度目標値に対する実績値（取り組み結果）を示しています。

< 「取り組み結果」の考え方 >

計画当初に立てたすべての指標について、実績値に応じて「○・△」の2段階で達成度を表示。

○…目標値を上回った場合（目標値に対して100%以上の実績値の場合）

△…目標値を下回った場合（目標値の100%未満の実績値の場合）

\* 「取り組み結果」の割合は、目標値に対する実績値の割合です。なお、100%を超える場合にも100%を上限としています。

2024年度達成率・・・96%

- \* 「2024年度達成率」は、全取り組みの達成率の平均から算出しています。
- \* 「基本方針」及び「改革項目」の達成率は、それぞれに紐づく取り組みの達成率の平均から算出しています。
- \* 2024年度時点で事業未実施及び、事業実施しているが目標指標を設定していないもの（現状維持で現状値から変化のないものを含む）については、「-（ハイフン）」とし、達成率の算出から除いています。
- \* 目標達成年度が2023年度までの事業のうち、目標が達成できていないものについては、2023年度以前に設定している目標値を2024年度に繰り越して達成率を算出しています。
- \* 定性指標に関するもののうち、目標として設定した文字通りの状況に到達していない場合には、「取り組み結果」の割合を50%としています。

基本方針1 共創で新たな価値を創造する【達成率:99%】					
改革項目1-1 情報の双方向性を高める【達成率:99%】					
取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 顧客に合わせた情報発信の拡充	100%	広報活動の市民満足度	-	-	-
		情報発信する場の提供累計回数	○(100%)	24回	59回
2 緊急時における情報発信の強化	100%	新たな情報提供体制の構築・運用開始	○(100%)	運用・見直し	運用・見直し
		広報紙の緊急臨時号発行体制の構築	-	-	-
3 市民の声を市政に反映する仕組みの拡充	100%	大学と連携した対応記録の分析累計回数	○(100%)	3回	3回
		無作為抽出アンケートの累計調査回数	○(100%)	6回	6回
		デジタルを活用した新たな仕組みの導入	○(100%)	新たな仕組みの導入準備	新たな仕組みの導入準備
		Webアンケートの累計調査回数	○(100%)	36回	66回
オープンデータの充実	99%	公開データファイル累計件数	○(100%)	887件	1,235件
		ダウンロード件数	△(99%)	2023年度より増(1,098,997件)	1,090,487件
改革項目1-2 行政サービスのデジタル化を推進する【達成率:97%】					
取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 マイナンバーカードの普及及び利用促進	93%	マイナンバーカード交付率	△(79%)	(100%)	79.2%
		出前申請受付サービスのイベント実施累計回数	-	-	-
		コンビニで発行した証明書の割合(住民票、印鑑登録証明書、戸籍全部(個人)事項証明書等)	○(100%)	28%	47%
		コンビニで発行した証明書の割合(課税・非課税証明書)	○(100%)	21%	36%
2 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進	100%	“e-まち”実現プロジェクトの取組累計件数	○(100%)	48件	146件
		オンライン化した手続累計件数	○(100%)	263件	553件
		情報セキュリティ外部監査の実施率	○(100%)	100%	100%

基本方針1 共創で新たな価値を創造する【達成率:99%】

改革項目1-3 多様な主体との協力体制を強化する【達成率:100%】

取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 共創による地域社会づくりの推進	100%	多様な主体の連携による地域課題解決のための取り組み数	○(100%)	65事業	77事業
		地域活動にかかわった関係者の数	○(100%)	1,850人/年	4,507人/年
		共創・協働を意識している職員数	-	-	-
2 外部意見の活用	100%	委員会からの助言・提言の市政への反映累計数	○(100%)	15件	22件
		包括外部監査実施方法の見直し	○(100%)	検討・決定	検討・決定
		包括外部監査の措置率(過去5か年の措置率)	○(100%)	90%	99%
3 市政モニタリングの実施	100%	市民参加型事業評価の開催	○(100%)	開催	開催
		市民参加型事業評価の改善プログラム達成率	○(100%)	2022年度開催分90%	2022年度開催分91.3%
		CFCI新規実施累計事業数(既存事業の改善含む)	○(100%)	6事業	6事業
4 非常時に備えた組織体制の構築	100%	防災対策連絡調整会議の開催累計数	○(100%)	3回	3回
		地域防災計画及び事業継続計画修正	○(100%)	計画の修正・検討	計画の修正・検討
		町田市新型インフルエンザ等対策行動計画の修正	○(100%)	計画の修正・検討	計画の修正・検討

基本方針2 対話を通して市役所能力を高める【達成率:97%】

改革項目2-1 強くしなやかな組織を構築する【達成率:97%】

取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 事務事業の見直し	100%	業務改善プロジェクトの実施累計業務数	○(100%)	8業務	22業務
		デジタル技術を活用した改善業務累計数	○(100%)	105業務	473業務
2 職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し	99%	職員定数	△(99%)	2,172人	2,191人
		事務決裁規程の見直し	○(100%)	実施	実施
3 非常時に備えた組織体制の構築(再掲)	100%	防災対策連絡調整会議の開催累計数	○(100%)	3回	3回
		地域防災計画及び事業継続計画修正	○(100%)	計画の修正・検討	計画の修正・検討
		町田市新型インフルエンザ等対策行動計画の修正	○(100%)	計画の修正・検討	計画の修正・検討
4 市税業務改革	75%	税務3課における業務改善の取組事例累計数	○(100%)	2件	7件
		包括外部委託の活用	△(50%)	実施準備(資産税課)	実施検討(資産税課)
5 社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合	100%	民間委託及び事務の統合	○(100%)	統合完了・委託実施	統合完了・委託実施
6 学校給食業務の運営体制の最適化	97%	給食調理業務の委託を新たに実施する小学校の累計数	△(97%)	32校	31校
7 学校用務業務の運営体制の最適化	100%	修繕等における用務職が対応する割合	○(100%)	81%	90.8%
8 学校事務業務の運営体制の最適化	100%	学校事務職員における正規・再任用の職員数	○(100%)	20人	18人
9 小中学校における学校経営の支援	100%	学校徴収金の公会計化	-	-	-
		中学校給食費の公会計化	○(100%)	実施	実施
		副校長補佐を配置する学校の累計数	○(100%)	41校	41校
10 市民センター等における最適なサービスの構築	-	証明書発行に特化した窓口機能の縮小・廃止	-	検討	-※1
		民間協働により管理運営する施設累計数	-	6施設(2施設/年)	-※2

基本方針2 対話を通して市役所能力を高める【達成率:97%】

改革項目2-2 未来を創る職員を育てる【達成率:99%】					
取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
職員が能力を発揮できる職場環境づくり	99%	メンタル疾患による30日以上病休者割合 (2020年度26市平均値2.5%)	△ (97%)	26市平均値以下	3.8% (2024年度26市平均値3.7%)
		年次有給休暇の平均取得日数 (2020年度26市平均値13.1日)	○ (100%)	26市平均値以上	17.6日 (2023年度26市平均値15.2日)
		係長職に占める女性職員の割合	△ (97%)	35%	34%
		障がいのある職員の採用後1年以内の離職者数	○ (100%)	0人	0人
人材の確保と育成の推進	100%	採用試験の見直し	○ (100%)	試験内容等の見直し	試験内容等の見直し
		「町田市職員人材育成基本方針」に掲げる“めざす職員像”の認知度	-	-	-
		「町田市職員人材育成基本方針(第5期)」の策定	○ (100%)	策定	策定
		「経営品質向上活動」を意識している職員の割合	○ (100%)	78%	93%

基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する【達成率:92%】

改革項目3-1 持続可能な財政基盤づくりを推進する【達成率:95%】					
取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 行政評価シートのさらなる活用	93%	費用対効果が改善した事業の割合	△ (86%)	44%	38%
		課題解決・目標達成に向けた今後の取り組みの実施割合	○ (100%)	90%	98%
2 市債発行額と財政調整基金残高の適正管理	100%	実質公債費比率	○ (100%)	1.5%	0.5%
		市債年度末現在高	○ (100%)	1,037億円	865億円
		財政調整基金年度末残高	○ (100%)	80億円	113億円
3 受益者負担の適正化	75%	基本方針の検証	△ (50%)	検証を踏まえた見直し	検証
		受益者負担の見直し	○ (100%)	実施公表	実施公表
4 国民健康保険事業財政の健全化	95%	赤字額(新型コロナウイルス感染症影響分を除く)	△ (95%)	17.6億円	18.5億円
5 下水道経営基盤の強化	100%	モニタリング評価分析及び計画の見直し	○ (100%)	モニタリング評価分析	モニタリング評価分析
6 病院事業の経営改善の推進	90%	経常収支比率	△ (89%)	101%	90%
		5日以上有給休暇取得率(医師)	△ (92%)	100%	92%
7 市庁舎の適切な維持管理と財源確保	100%	市庁舎の有効活用累計件数	○ (100%)	28件以上	28件
		市庁舎のCO <sub>2</sub> 排出量	○ (100%)	1,792t	188t
		使い途を特定した期間限定のふるさと納税の累計実施件数	○ (100%)	12件	15件
8 新たな資金運用の推進	100%	債券運用による運用益	○ (100%)	53,091千円	63,457千円
9 道路アセットマネジメントの推進	100%	橋梁の維持管理、ペDESTリアンデッキの維持管理	○ (100%)	予防型の維持管理の実施	予防型の維持管理の実施
		トンネル・横断歩道橋の維持管理	○ (100%)	予防型の維持管理の実施	予防型の維持管理の実施
		街路樹の維持管理	○ (100%)	植替え・撤去の実施	植替え・撤去の実施
		街路灯柱等の維持管理	○ (100%)	調査・検討	調査・検討

基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する【達成率:92%】

改革項目3-2 市有財産を利活用する【達成率:80%】

取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 公共施設再編の推進	60%	短期再編プログラムの取組達成率	△ (80%)	68%	54%
		中期再編プログラムの策定	-	-	-
		2つの保健施設の集約	△ (50%)	基本計画策定 公募準備	現状と課題の整理
		教育センターの複合化	△ (50%)	公募実施	公募実施・取りやめ
2 公共施設の管理運営手法の最適化	100%	中期修繕計画の改定	-	-	-
		施設管理運営手法の導入	○ (100%)	施設情報の統合準備	施設情報の統合準備
		三次元化した建物情報モデル(BIM)の作成システムの導入	○ (100%)	仮運用	仮運用

※1 2023年度の検討の結果、証明書発行に特化した窓口機能の縮小・廃止を取り止めました。

※2 2023年度の検討の結果、民間協働による管理運営の導入を取り止めました。

(3) 経営改革プランの効果額一覧

改革項目名		主 な 内 容	効果額 (千円)
1-1-1	顧客に合わせた情報発信の拡充	記者発表やプレスリリース等によって情報発信をサポートした結果、市や関係団体等の魅力的な活動が、新聞や地域情報紙、Webメディア等に掲載されました。	25,047
1-2-1	マイナンバーカードの普及及び利用促進	マイナンバーカードを利用し、各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスの利便性をPRした結果、窓口での証明書の交付件数が減少しました。	311,825
1-2-2	デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進	オンライン窓口予約システムや個別業務システムの導入等により、市民の利便性向上と業務の効率化を図りました。	391,986
2-1-1	事務事業の見直し	事務事業の見直しやRPAなどのデジタル技術の活用などにより、業務の効率化を図りました。	256,285
2-1-2	職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し	職員定数の見直しにより、職員の人件費を削減しました。	83,808
2-1-4	市税業務改革	法人市民税と軽自動車税に係る事務処理等の包括外部委託により、業務の効率化を図りました。	7,614
2-1-5	社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合	後期高齢者医療保険料及び介護保険料の収納事務を、市税と国民健康保険税の収納事務に一元化することで、収納率の向上を図りました。	93,183
2-2-1	職員が能力を発揮できる職場環境づくり	ワークライフバランスを推進することで、全庁的な時間外勤務時間を削減しました。	36,899
3-1-4	国民健康保険事業財政の健全化	赤字補填を目的とした一般会計からの繰入金を削減しました。	190,000
3-1-5	下水道経営基盤の強化	赤字補填を目的とした一般会計からの繰入金を削減しました。	96,811
3-1-7	市庁舎の適切な維持管理と財源確保	ふるさと納税やクラウドファンディング、市有財産貸付による有効活用等により、効果的な市歳入の確保及び歳出削減を図りました。	573,009
3-1-8	新たな資金運用の推進	資金管理計画を踏まえた債券運用を行うことにより、利益が生じました。	63,457
3-1-9	道路アセットマネジメントの推進	橋梁、ペDESTリアンデッキ、トンネル等について、長寿命化修繕計画に基づき、予防保全型の維持管理を行いました。	368,600
合 計			2,498,524

## 取り組みの達成状況と 主な成果

## 共創で新たな価値を 創造する



### 2024 年度の主な成果

#### 1-1-1 顧客に合わせた情報発信の拡充

- ・ 町田市ホームページをスマートフォンから閲覧している人が約70%を占めることから、これまで以上にスマートフォンから閲覧しやすくなるようリニューアルを行いました。また、2022年度に実施した『「広報活動」に関する意識調査』において、ホームページで入手したい情報として多くの意見が寄せられていたイベント情報について、AIで情報収集し掲載する機能を搭載しました。
- ・ 「広報まちだ」を多くの方に届けることができるように、2025年1月から電子チラシサービス「Shufoo!」(シュフー)を利用した配信を開始しました。また、スーパーなどの市民生活に密着した拠点配布箇所の新設や、移動販売を活用した配布を開始しました。

#### 1-2-2 デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進

- ・ 市民の利便性向上と市役所業務の生産性向上に向け、生成AIと3Dアバターを組み合わせた全国初のオンライン行政手続検索サービス「AIナビゲーター」や、事前にパソコンやスマートフォンから来庁時間を予約できる「オンライン窓口予約システム」等を導入しました。
- ・ LINE等を活用し、国民健康保険の加入・脱退の申請や、高額療養費の申請など、年間の申請件数が多い行政手続を中心に、新たに122件をオンライン化しました。これまでにオンライン化した手続の累計件数は553件になりました。

#### 1-3-1 共創による地域社会づくりの推進

- ・ 地区の課題解決に取り組む「地区協議会」に対して、活動に対する補助金、地域活動室の確保と提供、地域おうえんコーディネーターによるサポートといった支援を実施し、地域の盛り上がりにも寄与しました。また、地域で“やりたい”という思いを持った多様な主体と地区協議会との連携を進め、地域活動のつながりを深めました。
- ・ これらの取組の結果、地区の課題解決のためのプロジェクトが77件生まれました。

#### 1-3-3 市政モニタリングの実施

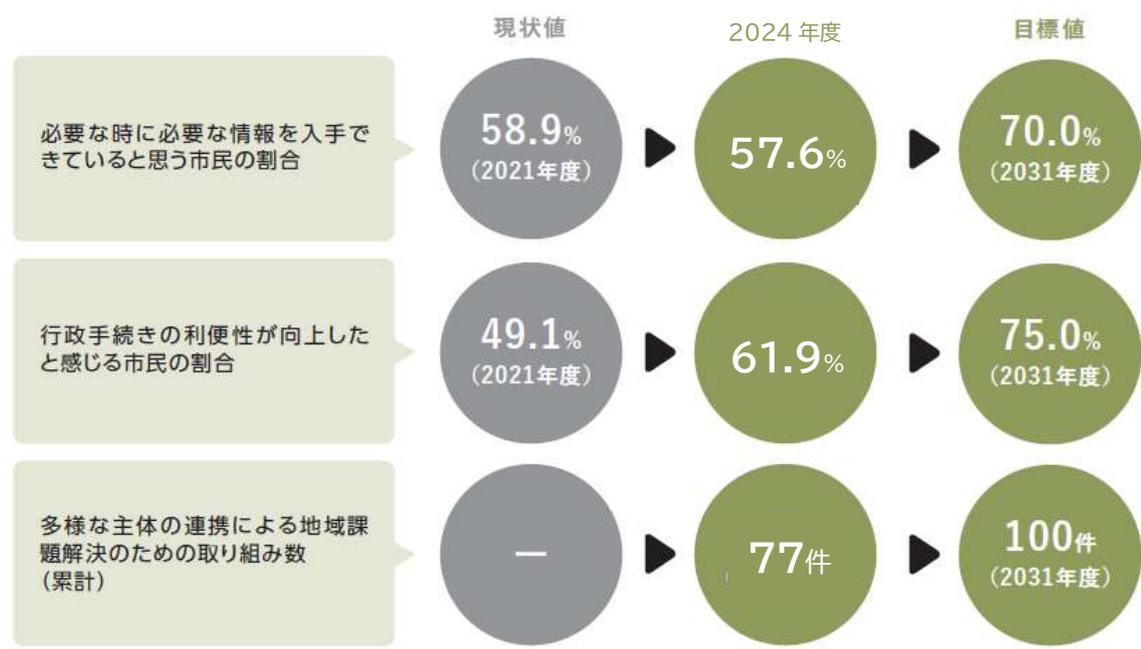
- ・ 市民の声を行政サービスの向上に活用するため、高校生を含む市民と有識者が市の事業を評価し、改善につなげる「市民参加型事業評価」を実施しました。2024年度の評価では、評価対象7事業について、41項目の改善プログラムを策定することができました。
- ・ 今回の市民参加型事業評価では、より多くの若者に関心を持ってもらうために、新たに協定を締結した中央大学の学生に運営等に参加していただきました。

# 基本方針 1 共創で新たな価値を創造する

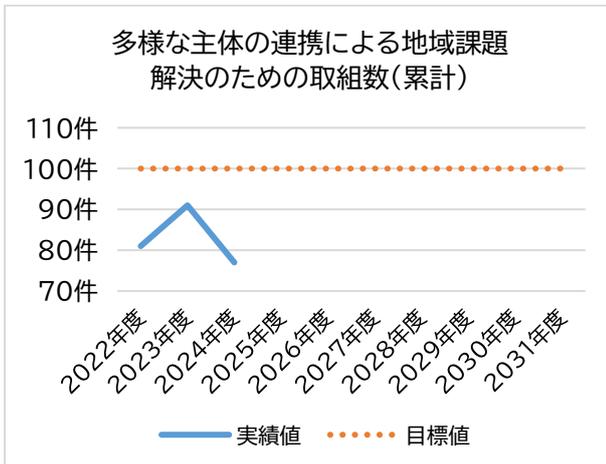
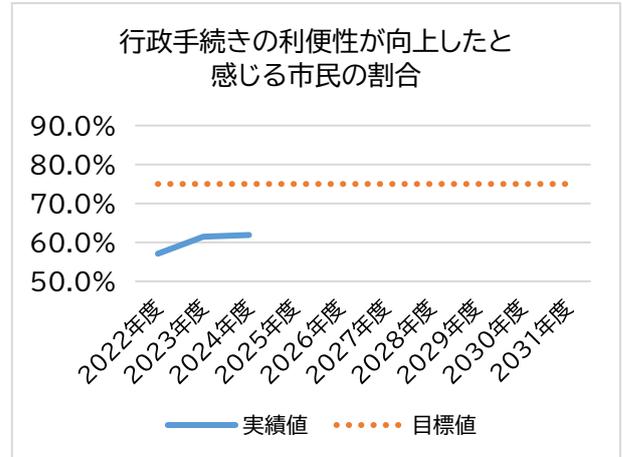
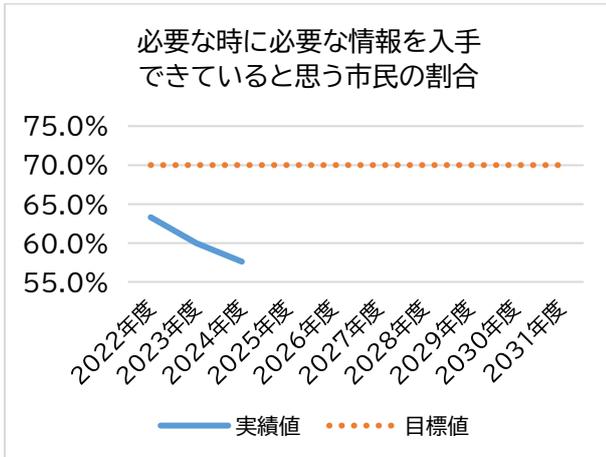
## めざす姿

- 市民それぞれの知りたいことが共有され、活用できる環境が整っています。
- テクノロジーを活用し、誰もが時と場所を問わず受けられる最適な行政サービスが提供されています。
- 多様な主体がアイデアを出し、地域の活性化や市の抱える課題解決に取り組んでいます。
- 自治体間の連携を強化することで、市域を越えた行政サービスが提供されています。

## めざす姿の実現度を測る指標



## 指標の経過



## 基本方針を実現するため取り組み

- 顧客に合わせた情報発信の拡充
- 市民の声を市政に反映する仕組みの拡充
- マイナンバーカードの普及及び利用促進
- 共創による地域社会づくりの推進
- 市政モニタリングの実施
- 緊急時における情報発信の強化
- オープンデータの充実
- デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- 外部意見の活用
- 非常時に備えた組織体制の構築

## 対話を通して 市役所能力を高める



2024 年度の主な成果

### 2-1-1 事務事業の見直し

- ・ 市役所業務の見直しをプロジェクトにより推進し、改革・改善に取り組みました。2024 年度は、「要介護認定審査事務のデジタル化」や「打合せスペースへのモニター設置」など計 22 業務の改善を実施しました。
- ・ 市役所業務のデジタル化や AI・ロボティクス等の活用により、職員の手間を省き、生産性の向上を図りました。2024 年度は、生成 AI により音声ファイルを文字データに自動変換し、議事録作成の手間を大幅に軽減できる「議事録サポート AI」など、デジタル技術を活用した業務改善の取組を 164 件実施しました。

### 2-1-5 社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合

- ・ 後期高齢者医療保険料及び介護保険料の収納事務を、市税と国民健康保険税の収納窓口に一元化するとともに、民間委託の対象事業を拡充しました。

### 2-1-6 学校給食業務の運営体制の最適化

- ・ 安全・安心でおいしい給食サービスの安定的な提供のために、学校給食業務に民間活力を導入し、市内小学校 2 校に業務委託を開始しました。
- ・ 調理作業マニュアル作成や研修の実施等により、学校給食調理職のスキル向上に取り組みました。

### 2-1-9 小中学校における学校経営の支援

- ・ 2024 年 9 月から堺エリア、2025 年 1 月から鶴川エリアでの中学校全員給食開始に伴い、中学校給食費の公会計を開始しました。
- ・ 副校長の業務を補助する職員である「副校長補佐」を 41 校に配置し、副校長が学校マネジメント業務に一層取り組める環境を整えました。

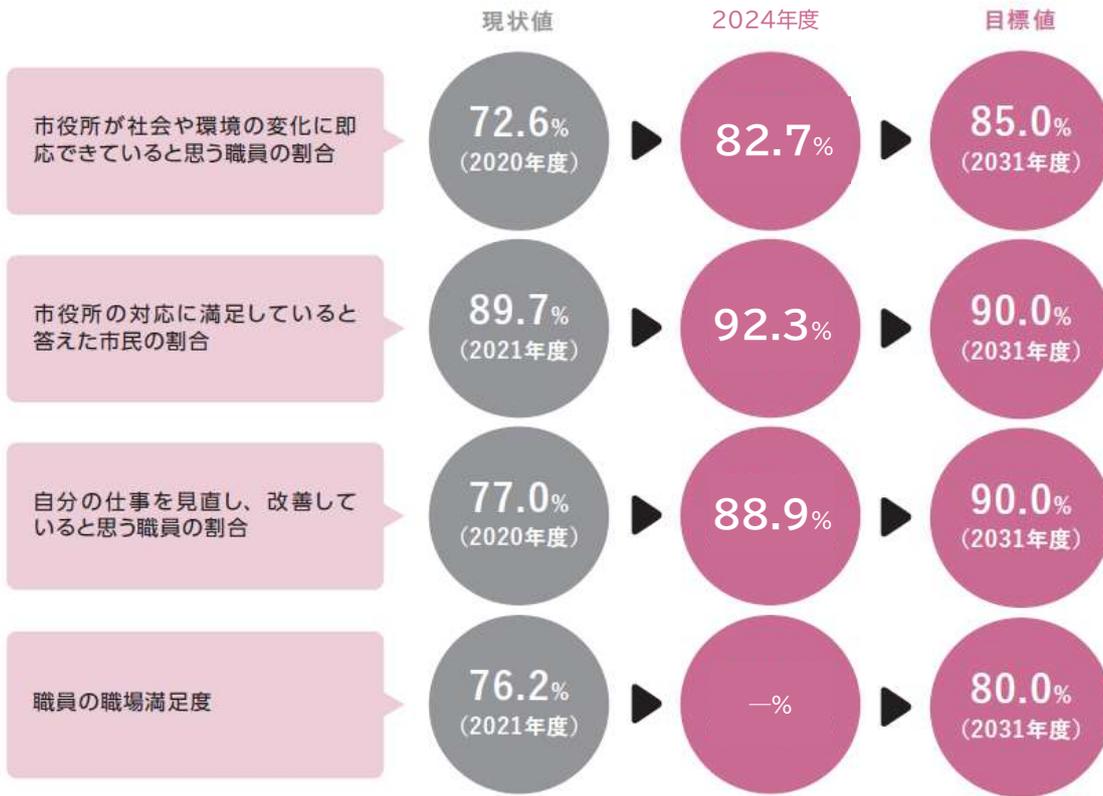
## 基本方針 2

# 対話を通して 市役所能力を高める

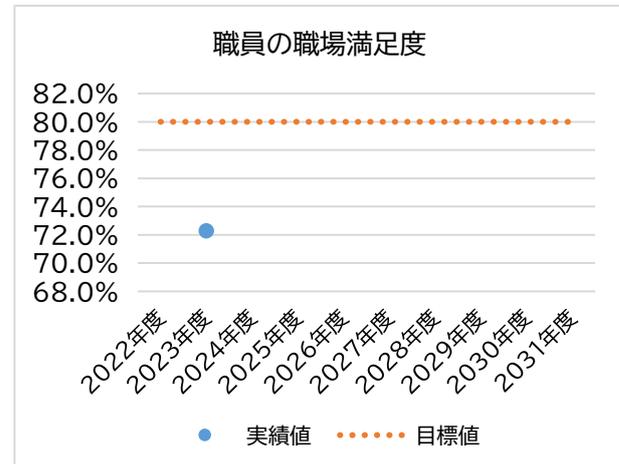
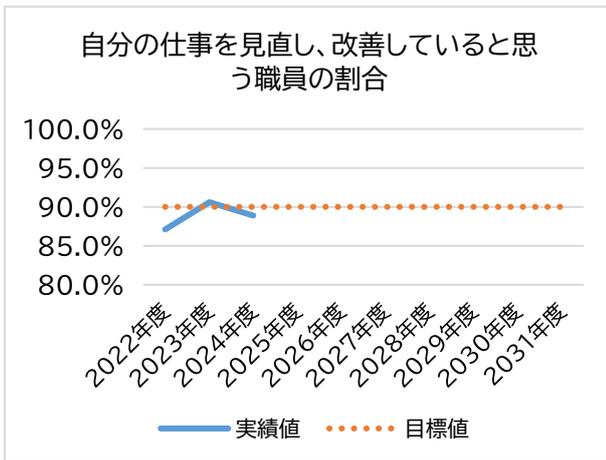
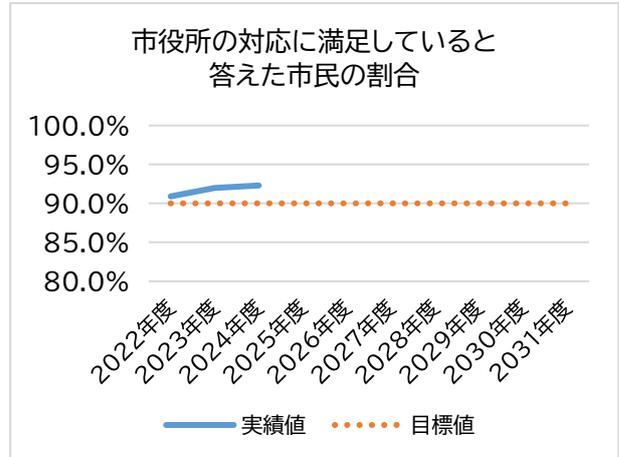
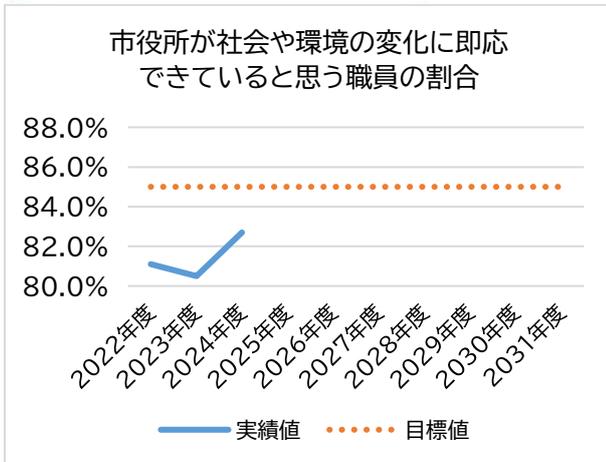
### めざす姿

- 社会情勢や行政需要の変化に柔軟に対応できるよう、組織能力の強化に取り組んでいます。
- 市民視点を持って新たなことに挑戦する職員が育成されています。
- すべての職員が、心身ともに充実した気持ちで、やりがいを持って業務に取り組む職場環境が整備されています。

### めざす姿の実現度を測る指標



## 指標の経過



## 基本方針を実現するため取り組み

- 事務事業の見直し
- 非常時に備えた組織体制の構築（再掲）
- 社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合
- 学校用務業務の運営体制の最適化
- 小中学校における学校経営の支援
- 職員が能力を発揮できる職場環境づくり
- 職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し
- 市税業務改革
- 学校給食業務の運営体制の最適化
- 学校事務業務の運営体制の最適化
- 市民センター等における最適なサービスの構築
- 人材の確保と育成の推進

## 次世代につなぐ 財政基盤を確立する



### 2024 年度の主な成果

#### 3-1-7 市庁舎の適切な維持管理と財源確保

- ・ 市庁舎スペースの貸付や案内モニターへの広告掲載など、市庁舎の有効活用を実施しました。
- ・ ビル・エネルギー管理システム（BEMS）を使って得られたデータを分析し、活用することで最適な空調管理を行い、CO<sub>2</sub>排出量を削減しました。また、CO<sub>2</sub>排出係数がゼロの電力を使用することで、CO<sub>2</sub>排出量が減少しました。これらの取組により、市庁舎のCO<sub>2</sub>排出量は、2020年度に比べ1,659 t 減少（89.8%減）しました。
- ・ ふるさと納税の募集において、経済的に厳しいひとり親家庭にお弁当を届ける「おうちごはん事業」など、使い途を特定した期間限定の寄附募集を2件実施しました。

#### 3-1-8 新たな資金運用の推進

- ・ 町田市資金管理計画に基づき、安全性を最優先にしながら中長期の債券の購入などの資金運用を実施した結果、運用収益の目標を達成することができました。

#### 3-2-2 公共施設の管理運営手法の最適化

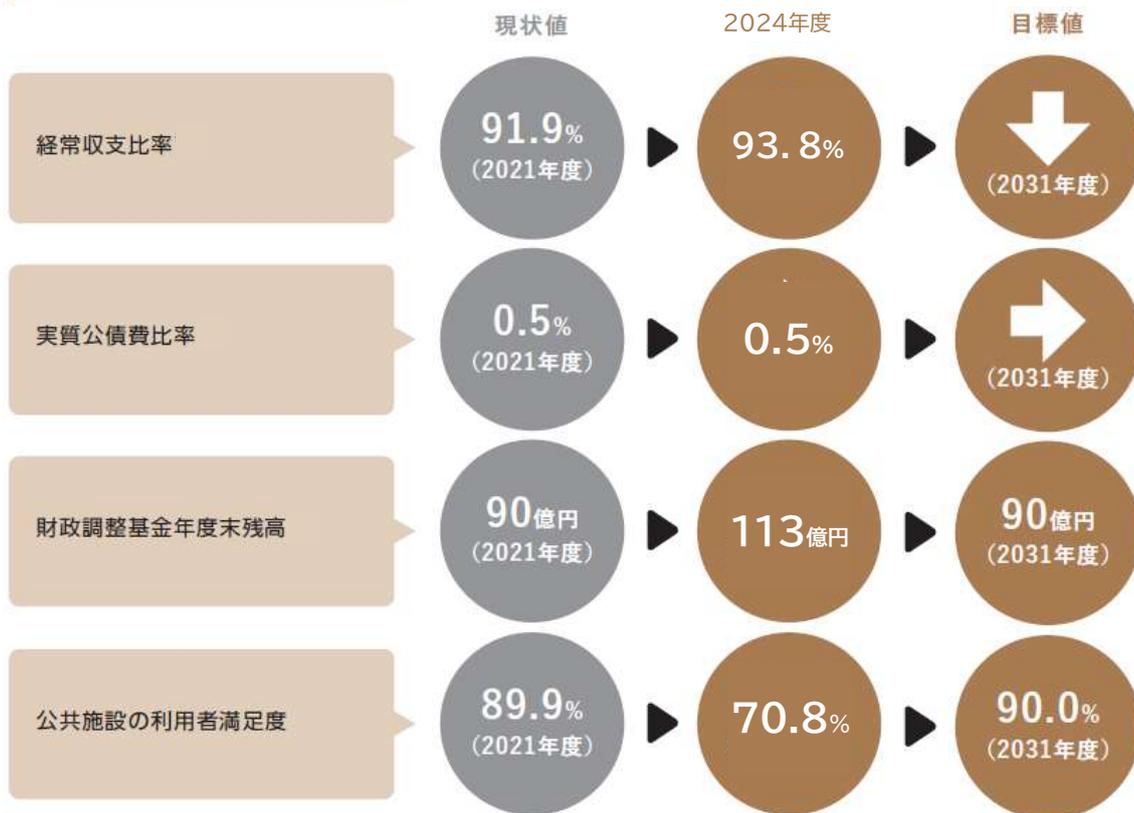
- ・ 公共施設の管理運営手法のDXを目指し、施工管理アプリ（施工管理に必要な情報を一元管理し、リアルタイムに共有できるアプリ）の実証実験とBIM（三次元化した建物情報モデル）導入の取組を実施しました。
- ・ 施工管理アプリの実証実験においては、工事の書類作成・確認時間が短縮し、紙の削減や現場状況把握が円滑になることに加えて、工事以外の活用として、毎年度見直す修繕計画において、施設調査での資料作成と情報共有にも有効であることを確認しました。
- ・ 設計図のBIMの導入に向けて、既存施設での検証や設計事務所へのヒアリングを実施し、BIM化業務委託標準仕様書（案）を作成しました。

## 次世代につなぐ 財政基盤を確立する

### めざす姿

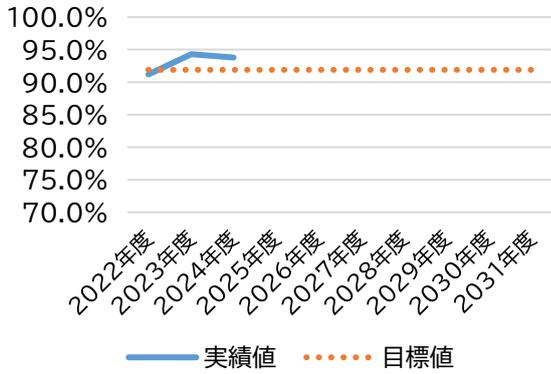
- 財務情報を資産管理や事業評価などに活用することにより、財政運営に関するマネジメント力が強化されています。
- 市の財政負担の軽減を図りながら事業を推進しています。
- 公共施設などを総合的かつ計画的に維持管理・活用しています。また、公共施設の再編を通じて「公共施設・公共空間のより良いかたち」が実現されています。

### めざす姿の実現度を測る指標

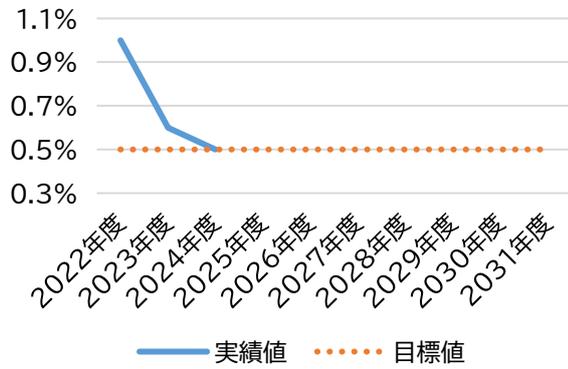


## 指標の経過

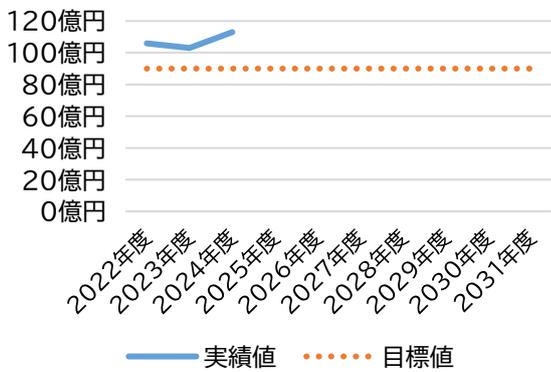
経常収支比率



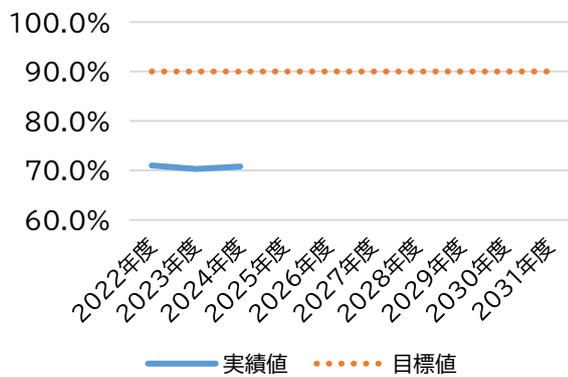
実質公債費比率



財政調整基金年度末残高



公共施設の利用者満足度



## 基本方針を実現するため取り組み

- 行政評価シートのさらなる活用
- 受益者負担の適正化
- 下水道経営基盤の強化
- 市庁舎の適切な維持管理と財源確保
- 道路アセットマネジメントの推進
- 公共施設の管理運営手法の最適化
- 市債発行額と財政調整基金残高の適正管理
- 国民健康保険事業財政の健全化
- 病院事業の経営改善の推進
- 新たな資金運用の推進
- 公共施設再編の推進

# 「財政見通し」と決算見込額との 比較分析

## 4 「財政見通し」と決算見込額との比較分析

### (1) 計画額と決算見込額との比較

歳入・歳出ともに、2024年度決算見込額が計画額を上回りました。歳入は、市税など全ての項目で計画額を上回りました。歳出は、義務的経費において、人件費や扶助費などが計画額を上回りました。また、その他の経費のうち、政策的事業費及びシステム経費が計画額を下回りましたが、経常事業費が計画額を上回りました。

(単位:百万円)

歳入(一般財源)	2024年度(令和6年度)			計画額と決算見込額との比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	96,402	117,167	20,765	
市税	69,514	71,054	1,540	主に個人市民税や法人市民税の増加により、計画額を上回りました。
譲与税・交付金等	13,627	24,183	10,556	主に地方交付税や地方消費税交付金が想定よりも多かったことにより、計画額を上回りました。
基金繰入金	4,500	9,315	4,815	主に財政調整基金繰入金の増加により、計画額を上回りました。
その他	8,761	12,615	3,854	主に前年度繰越金が見込みを上回ったことにより、計画額を上回りました。

(単位:百万円)

歳出(一般財源)	2024年度(令和6年度)			計画額と決算見込額との比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	98,334	109,491	11,157	
義務的経費	40,604	45,046	4,442	
人件費	19,732	21,441	1,709	正規職員人件費が計画額を上回りました。
正規職員	16,568	17,658	1,090	
うち退職手当	1,318	1,264	△ 54	
会計年度任用職員	3,164	3,783	619	
扶助費	12,975	15,439	2,464	児童福祉費、小・中学校費などが計画額を上回りました。
公債費	7,897	8,166	269	後年度の公債費負担の平準化及び抑制のため、借入方法を見直した結果、計画額を上回りました。
その他の経費	57,730	64,445	6,715	
繰出金等	18,124	18,350	226	国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、後期高齢者医療事業会計への繰出金等が計画額を上回りました。
事業費	39,606	46,095	6,489	
経常事業費	28,115	38,022	9,907	財政調整基金への積立金の増加などにより計画額を上回りました。
政策的事業費	8,117	5,335	△ 2,782	芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム整備事業や準幹線道路新設改良事業費などの減少により計画額を下回りました。
システム経費	3,374	2,738	△ 636	計画額を下回りました。
歳入－歳出 (=収支差額)	▲ 1,932	7,676	9,608	

## (2) 2024年度(令和6年度)の財政指標

各財政指標は、暫定値です。

	2024年度(令和6年度)			計画数値と決算見込数値との比較分析
	計画数値	決算見込数値	差引	
経常収支比率(%)	93.6	93.8	0.2	分母に算入される臨時財政対策債などが減額となった一方で、分子に算入される人件費や扶助費の増額の影響により、計画数値を0.2ポイント上回りました。
公債費負担比率(%)	8.0	7.0	△ 1.0	分母となる一般財源の増額により計画数値を1.0ポイント下回りました。
実質公債費比率(%)	1.5	0.5	△ 1.0	公営企業(病院、下水道)を含む市全体の実質公債費比率は、適正範囲内です。
財政調整基金 年度末残高(億円)	80	(※) 113	33	年度内の財源調整などの理由により、計画数値を上回りました。

(※) 財政調整基金の年度末残高は、2025年(令和7年)5月31日現在のものです。

- ◆ 経常収支比率 市税などの経常的な収入(分母)が、人件費や扶助費などの経常的な支出(分子)にどの程度充てられているかを表す指標。この数値が高いと、自由に使える金額が少ないことを意味します。
- ◆ 公債費負担比率……公債費(市債の償還に要する経費)が市の財政に占める割合。この比率が高いと、借金の割合が高いことを意味します。
- ◆ 実質公債費比率 一般会計だけでなく、市民病院や下水道などの公営企業会計を含んで算出した市全体の公債費比率のこと。この数値が25%以上になると、「財政健全化計画」の策定が義務付けられます。
- ◆ 財政調整基金 大幅な増収や決算剰余金が生じた場合に積み立て、財源不足が生じた場合取り崩すことにより、年度間の財源を調整し健全な財政運営を図ることを目的とした基金(積立金)です。

